



監視用 ハードディスクレコーダー 型式 DVR-HTA04H 取扱説明書

基本編



※予告なしにデザイン等が変更になる場合があります。
予め、ご了承ください。

この度は弊社製品をご購入頂き
誠に有難うございます。

- ご使用前に、こちらの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、「取扱説明書」は大切に保管し、必要なときにお読みください。

目次

1.特徴	1
2.セット内容	2
3.安全上のご注意	3
4.使用上のご注意	5
5.内蔵ハードディスクについて	6
6.各部の名称	7
7.接続例	9
8.システムの起動とシャットダウン	10
9.操作方法とメニュー画面の設定	11
◆はじめに	11
◆ライブモード	12
ライブ画面	12
ライブ状況表示	12
ライブポップアップメニュー	13
◆設定モード	23
ディスプレイ	24
録画	28
周辺機器	35
カメラ/プライバシー/音声	
モーション検出/アラーム出力/PTZ	
コントローラー(リモコン)/POS	
ネットワーク	51
システム	59
日付時間/ユーザー権限(パスワード)	
HDD/システムログ/設定(初期化)	
◆検索モード	69
時間検索	70
イベント検索	71
POS 検索	71
サムネイル検索	72
パノラマ検索	73
ブックマーク	74
操作説明	75
オプション機能	75
再生方法	77
10.外部機器の接続	78
11.録画時間の目安	79
12.製品仕様	80
13.寸法図	81
14.トラブルシューティング	82
15.修理について	82

1. 特徴

- カメラ4台の映像を最大500万画素(2560×1920)で高解像度録画
- アナログHDカメラ(AHD/TVI/CVI)とCVBSカメラ(960H)の映像信号を自動認識するので、異なる種類のカメラの混在が可能
また、IPカメラとの組み合わせも可能なハイブリッドレコーダー
- 録画方式 H.265 を採用し、内蔵 HDD 2TB で長時間の録画が可能
- 接続しているカメラの解像度を自動認識して録画設定に反映
- 録画フレーム数をカメラ1台あたり、1~30フレーム/秒に設定可能(5M合計50fps/4M合計60fps)
- モーション録画機能搭載で、画面に動きがあったときだけの録画が可能
- 連続録画、スケジュール録画、アラーム録画、緊急録画機能搭載
- UTC 機能で、カメラのメニュー設定とレンズのズーム操作がレコーダー側にて可能
- 録画データの再生は、カレンダー画面から日時を選んで再生することが可能
- 録画データを USB メモリーへ保存してパソコンでの再生が可能(専用ソフト・Media Player 使用)
- P2P ネットワーク接続により、簡単な設定で遠隔監視が可能(パソコン・スマートフォン使用)
- 全チャンネル同時に音声の記録が可能
- 自動上書録画機能
- 画面ループ機能(オートシーケンス)
- カメラタイトル表示機能
- マウス・リモコンが付属

2.セット内容

ご使用前にセット内容を確認してください。

■レコーダー本体■



■ACアダプター■



■HDMIケーブル■



■マウス■



■リモコン/電池×2■



■遠隔監視用ソフト■



3.安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ご使用者様や周囲の方への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを以下のように区分けして説明しています。これらは安全にご使用いただく上で重要です。以下の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分けして説明しています。

 警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容	 注意 障害を負うおそれや、物的損害の発生のおそれがある内容
--	--

お守り頂く内容の種類を絵表示で区分けして説明しています。

 (禁止) してはいけない内容	 (必ず守る) 必ず行って頂く内容	 (注意) 注意しなければならない内容
--	--	--

 警告	
 (禁止)	<ul style="list-style-type: none"> ■煙が出る、変な臭いや音がする、高温になるなどの異常を感じた時は、必ずACアダプターをコンセントから抜き電源を切ってください。 ■機器内部に水や異物が入った場合には、必ずACアダプターをコンセントから抜き電源を切ってください。感電やケガのおそれがあります。 ■機器を落としたりするなどの強い衝撃を与えた場合、必ずACアダプターをコンセントから抜き電源を切ってください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。 ■分解したり、改造は絶対に行わないでください。発火したり、異常動作をするおそれがあります。 ■濡れた手で電源プラグに触らないでください。感電するおそれがあります。 ■ACアダプターは、コンセントや配線器具の定格を超える使い方やAC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となります。 ■埃や湿気の多い場所、風通しの悪い場所への設置はしないでください。感電や故障の原因となります。 ■電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、加熱したりしないでください。また、重いものを載せたり挟み込んだりしないでください。火災や感電のおそれがあります。 ■電源には、必ず付属のACアダプターを使用してください。他の機器のACアダプターは絶対に使用しないでください。故障や火災の原因となります。 ■雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触らないでください。感電のおそれがあります。

 <small>(注意)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 機器内部に水や異物を入れないでください。万が一、水が掛かったり、異物が入った場合には、直ぐにコンセントを抜き、電源を切ってください。そのまま使用を続けると火災や感電の原因になります。 ■ 機器の上に薬品、水などが入った容器や重いものなどを載せないでください。落下による火災や感電の原因となります。 ■ 雨が降り掛かる場所や、水に濡れそうな場所に設置しないでください。火災や感電の原因になります。 ■ 配線工事は安全・確実に行ってください。誤った配線工事は、火災・感電・事故の原因となります。 ■ ACアダプターは、コンセント、機器本体にしっかりと差し込んでください。接触不良が発生したり、隙間に埃がたまり火災の原因となります。ACアダプターは、定期的に取り外して掃除してください。
 <small>(必ず守る)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ACアダプターをコンセントから抜く時は、電源コードを持たずに必ずACアダプター本体を持って引き抜いてください。感電・ショート・発火のおそれがあります。

注意

 <small>(注意)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 直射日光のあたる場所やヒーターなどの熱源のある場所には設置しないでください。機器内部の温度が上昇すると、火災や故障の原因となります。 ■ 振動のない平らな場所に設置してください。 ■ 落雷の発生が予想される場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。故障の原因となる場合があります。 ■ 製品の表面は、乾いた布で軽く拭いてください。化学薬品や洗剤などは、表面を変質させる場合がありますので、絶対に使用しないでください。 ■ 発熱する他の機器と重ねて設置しないでください。 ■ 可燃性のスプレーなどを近くに置かないでください。 ■ 機器を落下させたり、衝撃を与えないでください。 ■ モーター類などを搭載した機器とは、電源を別系統にして配線してください。また、できるだけ近くには設置しないでください。ノイズなどの影響を受け、録画データや動作に異常が発生する場合があります。
 <small>(必ず守る)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急時以外で電源を切る時は、画面の「システム終了」操作を行ってからACアダプターをコンセントから抜いてください。機器に負担が掛かり、誤動作や録画データ損傷の原因となります。

4.使用上のご注意

- 本機の入力規格を超えた電圧や電流は絶対に入力しないでください。
- 正しい接続を行ってください。接続を間違えますと機器にダメージを与えることがあります。
- 電源の変動や電源ノイズの多い環境、強い電磁波がある環境では、機器の誤動作が発生する危険性がありますので、設置場所を変更するか、必要なノイズ対策（ノイズフィルターや電磁波シールド等）を行ってください。
- 本機の上にモニターなど、重いものを置いて使用しないでください。誤動作の原因になります。
- 本機は湿気を嫌います。本体上面に水気のあるものなどは置かないようご注意ください。
- 本機はファンレスタイプです。室温が40℃以上になる場所での連続使用は絶対にお止めください。機器の設置は極力温度の安定した、粉塵やガスの発生が無い場所に設置してください。また、周囲に発熱するものがある場合は、少し離して機器の上には物を置かないようお願いいたします。機器の温度が上がり、機器の故障や寿命を短くする原因となります。
- 化学薬品や洗剤を使用した清掃は機器を痛める場合があります。
- 不当な修理や改造は絶対にお止めください。発熱・発火・感電・けがなどの原因となります。
- 電源を遮断するときは、必ずメニュー画面の「システム終了」操作を行ってください。
(録画データやシステムデータが破損し、異常が発生するおそれがあります。)
- ノイズ障害やその他の原因（不適切な電源オフ操作等）によりハードディスクのデータが破損して録画・再生において動作しなかったり、途中で止まったりなどの異常が生じる場合があります。この様な場合はハードディスクのフォーマットを行ってください。フォーマットをするとディスク内の全ての録画データが消去されますので、必要な場合は、事前に録画データのバックアップを行ってください。
- 電源の頻繁な入り切りは、ハードディスクの寿命を短くしたり、データ破損の原因にもなりますので、ご注意ください。
- 本機に設定した「パスワード」は、記録・保管し、忘れることが無いようお願いいたします。忘れてしまった場合は、パスワードが設定されていると、一切の操作ができません。パスワードの解除は、修理対応となる場合がありますので、ご注意ください。
- ネットワーク接続する場合は、他の用途のLANとは分けて単独とし、回線速度が速く、トラフィック（情報交通量）の少ない、安定した環境でご使用ください。
- ノイズなどの影響を避けるため、カメラとの配線には、必ず同軸ケーブルを使用してください。

5.内蔵ハードディスク(HDD)について

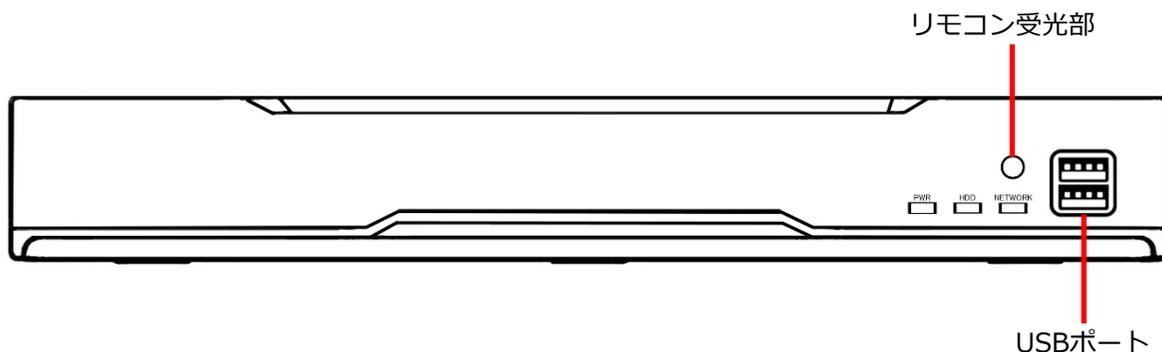
本機は、精密機器であるハードディスクを搭載しています。

録画データの消失や誤作動などを起こさないように以下の点に注意してください。

- ・ 振動や衝撃を与えないでください。持ち運びの際もご注意ください。
- ・ 動作中に電源プラグを抜かないでください。電源を切る場合は、必ずシステム終了の操作を行ってください。
- ・ 電源を入れたまま移動させないでください。
- ・ 強い磁気を持っているもの、強い電磁波を出すものを近づけないでください。録画データが損なわれることがあります。
- ・ 電氣的ノイズなどの影響によりハードディスクが正常に作動しない場合があります。
- ・ 停電などで、システム終了の操作をせずに電源が切れた場合は、ハードディスクのトラブルを避けるため、ハードディスクをフォーマットすることをお勧めします。
- ・ 極端に高温の場所での使用は絶対に避けてください。
- ・ 風通しが良い場所に設置してください。
- ・ 埃や湿気の多い場所には設置しないでください。
- ・ 内蔵のハードディスクには絶対に手を触れないでください。何らかの原因でハードディスクが故障した場合でも、ご自分で交換することはできません。お買い上げの販売店までご連絡ください。尚、点検・修理の際に録画データが消失した場合の内容補償はできません。
- ・ ハードディスクは消耗劣化する部品です。本機を毎日 24 時間連続でご使用になる場合は、3 年前後でハードディスクを交換する事をお勧めします。(3 年は、あくまでも目安ですので、寿命を保証するものではありません。ハードディスクの保証期間は 1 年です。)
- ・ ハードディスクの交換は、お買い求めの販売店へご相談ください。
- ・ 故障早期発見のため、定期的に録画・再生の動作確認をされることをお勧めします。
- ・ 万一の事故や故障に備えて、大切な録画データは定期的にバックアップすることをお勧めします。

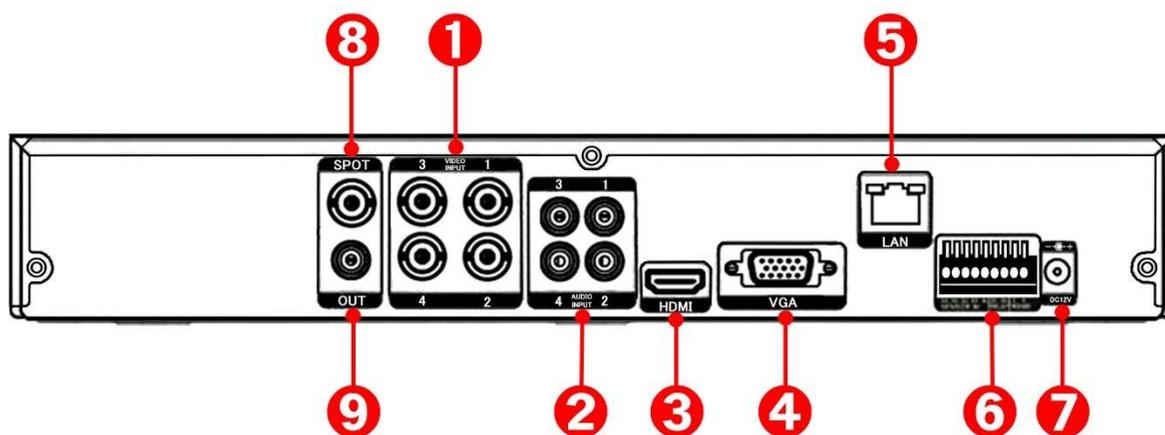
6.各部の名称

◇前面パネル◇



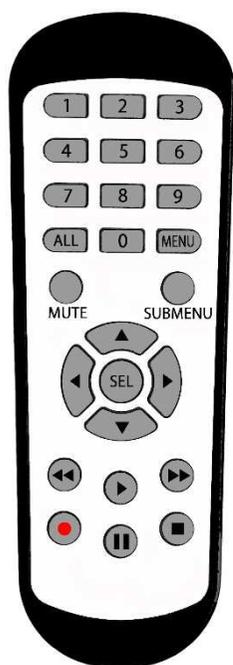
PWR	電源ランプ(青)：電源入力時に点灯
HDD	録画ランプ(赤)：録画動作時に点灯
NETWORK	ネットワークランプ(緑)：ネットワーク接続時に点灯

◇背面パネル◇



①映像入力端子 (VIDEO INPUT)	各チャンネルの映像入力端子 (BNC.J 端子)
②音声入力端子 (AUDIO INPUT)	各チャンネルの音声入力端子 (RCA.J 端子)
③HDMI 出力端子 (HDMI)	モニターの HDMI 入力端子へ接続
④映像出力端子 (VGA)	モニターの VGA 映像入力端子へ接続
⑤LAN 端子 (LAN)	ネットワーク監視用の LAN ケーブルを接続
⑥外部機器接続端子	外部機器を接続 ※78 ページを参照
⑦電源入力端子 (DC12V)	付属の AC アダプターを接続
⑧スポット映像出力端子 (SPOT)	サブモニターへの映像出力端子 (BNC.J 端子)
⑨音声出力端子 (OUT)	外部スピーカーへの音声出力端子 (RCA.J 端子)

◇リモコン◇

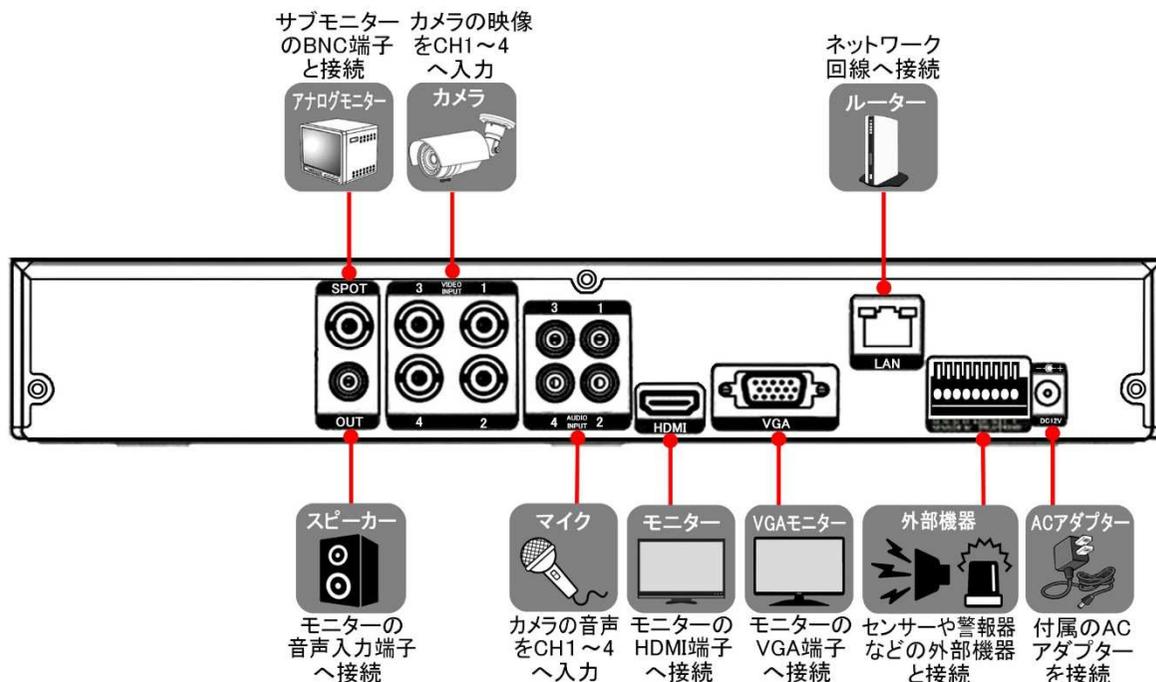


1 ~9(0)	各チャンネルの拡大表示/数字の入力
ALL	ID を設定
MENU	ポップアップメニューを表示/前の画面に戻る
MUTE	消音
SUBMENU	再生検索画面を表示
▲	メニュー画面上移動/オートシーケンスの ON・OFF
▼	メニュー画面下移動/オートシーケンスの ON・OFF
◀	メニュー画面左移動
▶	メニュー画面右移動
SEL	Enter/ズーム画面表示
◀◀	高速逆再生
▶	再生開始
▶▶	高速再生
●	緊急録画の開始と停止
⏸	再生の一時停止
■	再生の停止

リモコンには、単 4 電池 2 本（市販品）を使用してください。

7.接続例

接続の前に全ての機器の電源を切ってください。



全ての機器接続後に付属の AC アダプターをコンセントに差込んで電源を入れてください。

<カメラの接続について>

カメラの映像配線には、両端BNC.P端子の同軸ケーブルをご使用ください。(5CFB推奨)



カメラの映像信号が、チャンネル1~4へ入力されると、自動的にカメラを「AHD」「TVI」「CVI」または「CVBS(アナログ)」で識別をします。

※AHD/TVI/CVI/CVBS信号全てのカメラの作動を保障するものではありません。

<モニターの接続について>

工場出荷時の画面解像度の出力設定は、1280×720 です。ご使用になるモニターの仕様を確認して頂き、モニターの解像度に応じた画面解像度の出力設定に変更してください。(25 ページ参照)

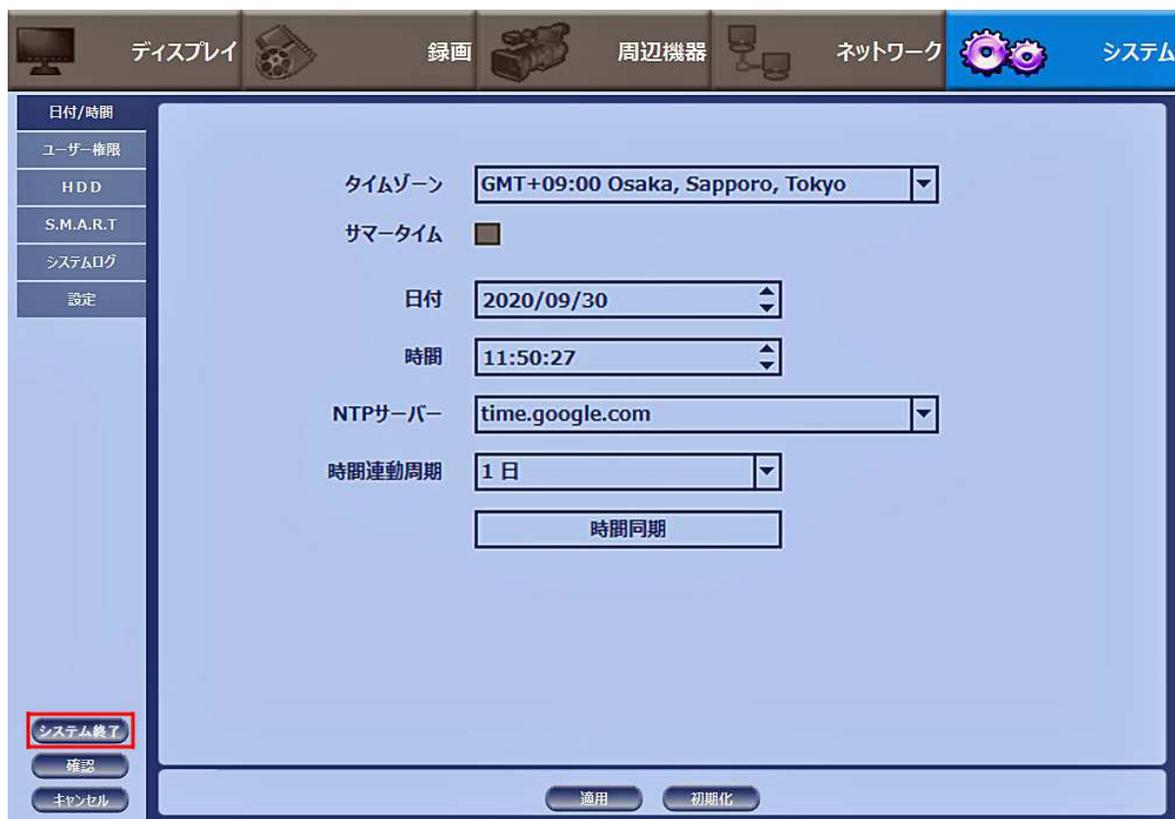
8.システムの起動とシャットダウン

◇システムの起動◇

ACアダプターをコンセントに差し込むと“ピッ”という音が聞こえ、電源ランプが点灯して起動画面が表示されます。起動後の画面出力の初期設定は、4分割画面モードです。

◇システムのシャットダウン◇

シャットダウンは、「ポップアップメニュー」>「設定」>「システム」>「システム終了」にて、システム終了の操作を必ず行ってから電源を切ります。(68ページ参照)



シャットダウンの動作に入り、「電源を切ってください。」が表示されたら、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

システム終了の操作をせずに電源を切った場合は、録画中のデータが消失する場合があります。また、ハードディスクのトラブルの原因となる場合がありますので、ご注意ください。

◇停電時の回復機能◇

録画中に停電などで再起動をした場合は、自動的に停電前の状態に復旧し、録画を開始します。但し、シャットダウン操作をせずに電源を切ったこととなりますので、ハードディスクのトラブルを避けるため、ハードディスクをフォーマットすることをお勧めします。(63ページ参照)

9.操作方法とメニュー画面の設定

◇はじめに◇

本機は、マウス及びリモコンで操作します。
機能は、4つのモードに分かれます。

<ライブモード>

本機起動後に最初に表示されるメイン画面です。ライブモードでは、カメラの映像をリアルタイムで監視することができ、カメラの状態や設定状況などが確認できます。他のモードへ移行するには、ライブ画面から入ります。

<設定モード>

録画及び再生・バックアップ、ネットワークなどの動作に関わるメニュー設定を行います。

<検索モード>

録画されたデータを検索画面にて、複数の検索方法で再生することができます。

<バックアップモード>

保存したい時間帯の録画データを USB メモリーへバックアップすることができます。

※パスワード保護について

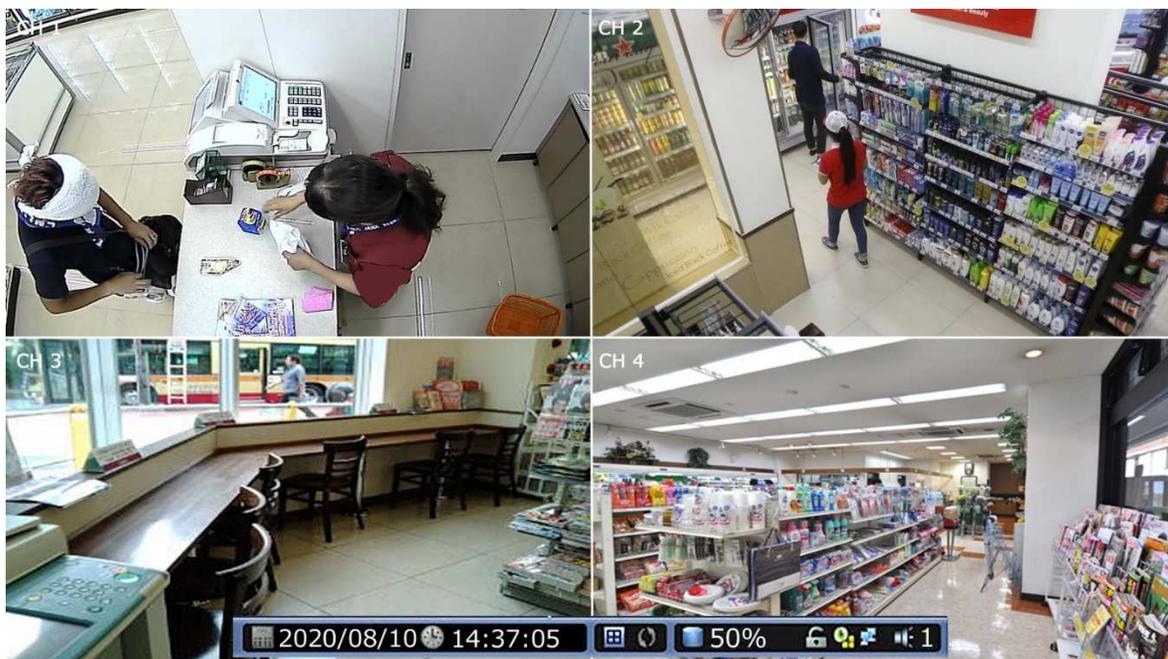
本機システムは、不正使用を防ぐため、ユーザーID とパスワードが必要となります。システムの操作は、ログイン画面から適切なユーザーID と設定しているパスワードを入力して開始します。



工場出荷時は、パスワードが設定されていませんので、空白のままログインしてください。

◇ライブモード◇

本機が起動すると、カメラ4台の映像が4分割画面で表示されます。



<ライブ画面>

各チャンネルの左上に、以下のようなアイコンが表示され、動作中の状況をお知らせします。

	録画中
	イベント録画中
	モーション検出あり
	センサー動作中
	POS 使用中

<ライブ状況表示>

画面下に表示されているステータスバーで、現在の状況確認と設定変更が可能です。

2020/08/10 14:37:05				50%		1	
①		現在の日時	⑥		ロック状態		
②		現在の時刻	⑦		スケジュール録画の状況		
③		画面分割の変更	⑧		ネットワーク回線の接続状況		
④		チャンネルシーケンスの ON/OFF	⑨		音声出力チャンネルの変更		
⑤		ハードディスク使用量					

＜ライブポップアップメニュー＞

ライブ画面にて、マウスの右クリックまたは、リモコンの「MENU」ボタンを押すと、ポップアップメニューが表示されます。



◆設定

動作に関わるメニューの設定を行います。(23～68 ページ参照)

◆分割画面

ライブ画面の画面分割を選択します。



 1 2 3 4	各チャンネルを 1 画面で表示
	4 分割表示

※分割画面の切り替えは、ライブ画面上のマウスのダブルクリックでも可能です。

◆音声出力

ライブ画面で、スピーカーから出力される音声の ON/OFF または、音声を出力するチャンネルを選択します。

◆即時再生

リアルタイム監視で、突発的な事件などが発生した場合に、約 10 秒前からの直近の録画データを再生する機能です。「即時再生」を選択すると、再生が開始され、画面下のバーが再生モードに変わります。



◆検索

録画したデータを検索して再生します。(69～77 ページ参照)

◆バックアップ

録画データを USB メモリーへ保存します。事前に USB メモリーを USB ポートへ接続してください。

A screenshot of the 'バックアップ' (Backup) settings screen. The screen has a light blue background and a dark blue border. At the top, it says 'バックアップ'. Below this, there are several settings: '周辺機器' (Peripheral device) set to 'USB' with a display of '0/31998 MB'; 'タイプ' (Type) set to 'exe'; '開始' (Start) and '終了' (End) times both set to '00:00:00'; 'カメラ' (Camera) with four checkboxes labeled '1', '2', '3', '4'; '音声' (Audio) with one checkbox; 'イベント録画' (Event recording) with one checkbox; 'パスワード' (Password) with an empty text box; '計算' (Calculate) button; '全エリア選択' (Select all areas) button; '全エリア解除' (Deselect all areas) button; 'ステータス' (Status) with an empty text box; '開始' (Start) button; '停止' (Stop) button; '終了' (End) button; and '全体画面' (Full screen) button.

周辺機器	USB メモリーの使用容量と全体の容量を表示
タイプ	バックアップファイル形式を「exe」または「avi」より選択
開始	保存を開始する日付・時刻を設定
終了	保存を終了する日付・時刻を設定
カメラ	保存するカメラのチャンネルを選択
音声	音声も保存する場合に選択
イベント録画	イベント録画のみを保存する場合に選択
パスワード	バックアップデータにパスワードを設定
計算	設定したバックアップデータの保存容量を「ステータス」へ表示
全エリア選択	「カメラ」「音声」「イベント録画」の一括設定
全エリア解除	「カメラ」「音声」「イベント録画」の一括解除
ステータス	保存容量とステータスバーを表示
開始	バックアップの開始
停止	バックアップの途中停止

「バックアップ成功」と表示されるとバックアップが正常に行われたこととなります。「確認」を選択して終了です。

「終了」を選択して、ライブ画面に戻ります。

「全体画面」を選択すると、バックアップ動作中のバックアップ画面を隠します。

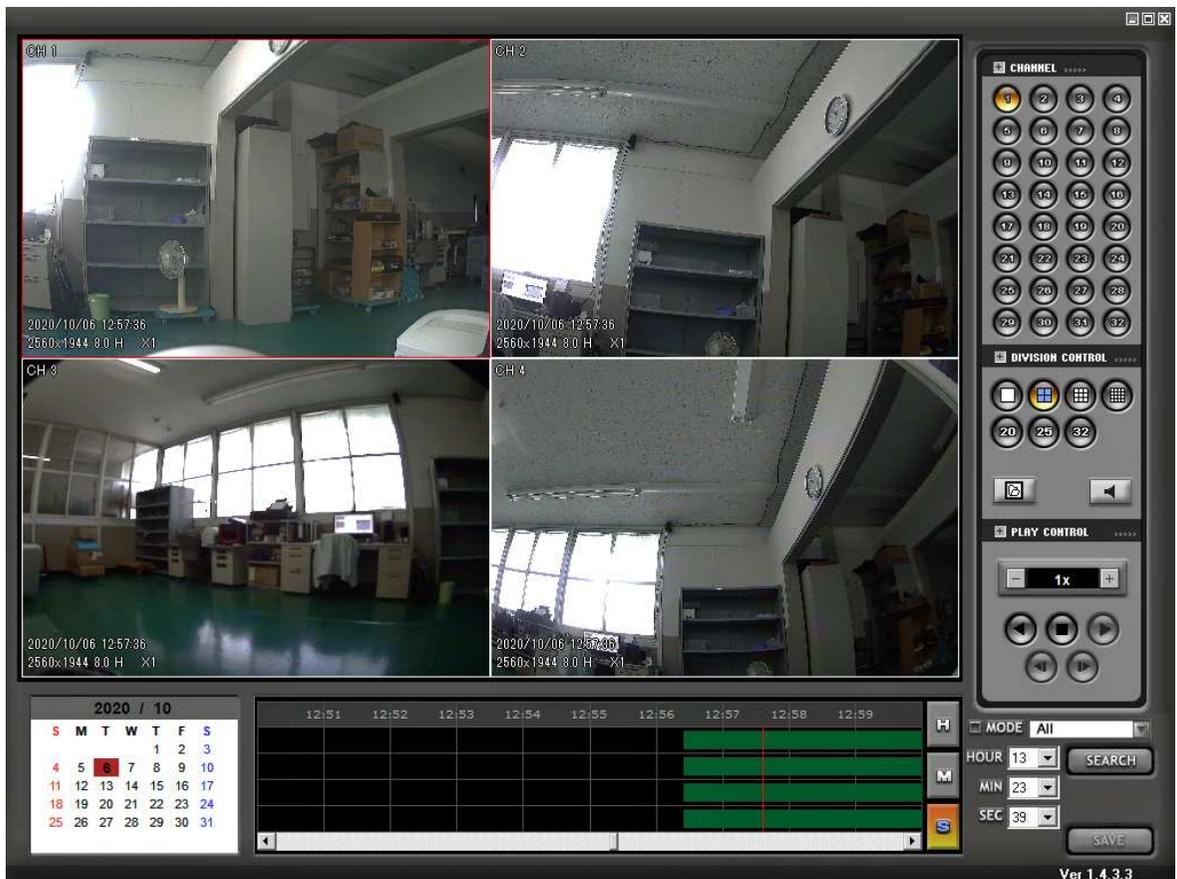
録画データのバックアップは、再生検索画面から行うこともできます。(75 ページ参照)

※バックアップ動作中に USB メモリーを絶対に抜かないでください。システムにダメージを与える可能性があります。

●バックアップデータの再生方法

選択したバックアップファイル形式により、再生方法が異なります。

バックアップファイルを「exe」形式で保存した場合は、再生ソフト画面での再生となります。



画面左下のカレンダーにバックアップデータの日付が赤く表示されます。

日付を選択すると、タイムバーにバックアップデータの時間帯が表示されます。

タイムバーの右側のアイコン「H」「M」「S」で、時間帯の表示単位を「時間」「分」「秒」に変更できます。



チャンネルを選択

分割画面を選択

バックアップファイルを開く
音声のオン/オフ

再生速度の選択
(0.25/0.5/1/2/4/8/16/32 倍速)

再生操作

◀	逆再生
■	停止
▶	再生
◀◀	逆フレーム再生
▶▶	フレーム再生



MODE	All(全て)に固定
HOUR	再生する時刻(時)を設定
MIN	再生する時刻(分)を設定
SEC	再生する時刻(秒)を設定
SEARCH	設定した時刻からダイレクトに再生
SAVE	Snapshot 画面を表示 (停止中の映像を静止画で保存・印刷)



Zoom IN	画像を拡大
Zoom Out	画像を縮小
Save	PCへ静止画データを保存
Print	静止画を印刷
Close	Snapshot 画面の終了

バックアップファイルを「avi」形式で保存した場合は、「Windows Media Player」「VLC Media Player」などの動画ソフトでの再生となります。

※H.265 で録画したデータは、ファイル形式を「avi」でバックアップすると、PCでの再生ができない場合があります。その場合は、ファイル形式を「exe」で選択してください。

◆キャプチャ

JPG 形式の静止画データを USB メモリーへ保存します。事前に USB メモリーを USB ポートへ接続してください。

「キャプチャ」を選択すると、全てのチャンネルの静止画像が USB メモリーに保存されます。「成功」と表示されると保存が正常に終了したことになります。

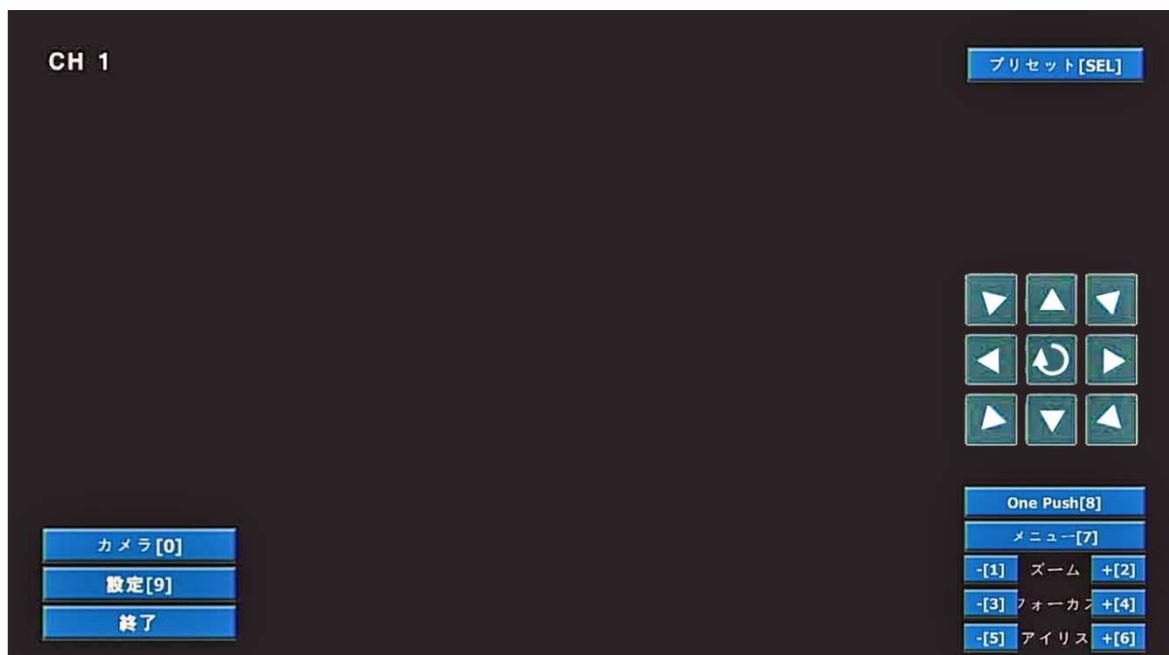
◆画面フリーズ

リアルタイムのライブ映像を静止させる機能の設定/解除をします。

◆PTZ(PTZ と UTC 制御)

接続されている PTZ (パン・チルト・ズーム) カメラの制御と UTC 対応のカメラの OSD のメニュー設定を行います。

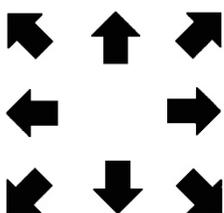
※PTZ カメラの設定と接続方法は、48 ページと 78 ページを参照してください。



プリセット【SEL】	プリセットポジション設定ウィンドウのポップアップ
One Push【8】	オートフォーカス機能（AF カメラ）
メニュー【7】	カメラの OSD メニューを表示（UTC 対応カメラ）
-【1】ズーム +【2】	カメラの映像を拡大(+)または、縮小(-)
-【3】フォーカス +【2】	カメラの焦点を調整
-【5】アイリス +【6】	カメラの絞りを調整
カメラ【0】	カメラを選択
設定【9】	プリセット設定画面を表示
終了	PTZ 制御の終了

【 】 はリモコンのボタンです。

画面上でマウスをクリックすると方向キーが表示され、ドラッグしたまま矢印の方向に動かすと、カメラが旋回します。



PTZ カメラを自動巡回させる場合は、プリセットポジション設定ウィンドウにて、プリセットポジションの事前登録を行います。

プリセットポジションは、最大 32 ヶ所設定することができます。



実行【SEL】	プリセット番号へ移動
設定【Play/SUBMENU】	プリセット番号の位置と名前を設定
削除【Stop】	プリセットの設定を削除
終了	プリセットポジション設定の終了

【 】 はリモコンのボタンです。

PTZ カメラが正しく接続されていることを確認してください。また、事前に PTZ カメラの設定を行ってください。(48 ページ参照)

プリセット設定画面にて、プリセットの詳細を設定します。プリセットポジションの名前と巡回する順番、旋回する速度と時間間隔などを設定します。

パンスピード	水平旋回の速度を 1～7 より設定
チルトスピード	垂直旋回の速度を 1～7 より設定
プリセット継続時間	プリセットの移動時間の間隔を 2～60 秒より設定
ツアー	設定した順番で巡回を開始
プリセット 1～32	ツアーの有効/無効を設定・プリセットの名前を設定

ツアー(カメラ巡回)の順番を画面下の 32 ヶ所の枠に設定します。左上から右の順番で 1 ヶ所ずつ入力してください。

ツアーが有効に設定されていないプリセット番号は、自動的にスキップします。

「確認」を選択して PTZ 画面に戻ります。

※PTZ カメラの仕様により、動作しない場合があります。

◆ズーム

ライブ画面または、再生画面で最大 7 倍までのデジタルズームをすることができます。



画面右上にズームされている範囲が表示されます。小さい方の範囲をマウスでドラッグするか、リモコンの上下左右移動ボタンで位置を移動させることができます。

カメラ【0】	カメラを選択
ズーム【9】	ズームの倍率を 2～7 倍より選択
終了	ズーム操作の終了

【 】はリモコンのボタンです。

※デジタルズームは、マウスホイールのスクロール操作で行うことも可能です。

◆シーケンス

ライブ画面をチャンネル毎に自動的に切り替える画面ループ機能の設定/解除をします。

ライブ画面のカメラのチャンネルを 1 画面に設定してから、シーケンスを有効にしてください。シーケンスの設定については、25 ページを参照してください。

◆OSD 表示

各チャンネルのチャンネル名と動作状況アイコンをライブ画面から消す機能です。

※画面下のライブ状況表示バー(ステータスバー)を消す場合は、24 ページを参照してください。

◆システム情報

システム情報画面を表示します。

システム情報	
ファームウェアバージョン	2.3.7.8
HDD	506.2/1862.7 GB
MACアドレス	00:09:1B:33:E9:6C
IPアドレス	192.168.1.38
接続されたIP	
監視使用者	0
検索使用者	0
設定使用者	0
一番古いデータの日付	2020/09/04 16:40:00

確認

「確認」を選択してライブ画面に戻ります。

◆キーロック

本機の操作をロックする機能の設定/解除をします。解除する場合は、ログインが必要です。

◆緊急録画

緊急事態発生時に手動で録画を開始する機能です。全ての録画設定に最優先され、最高の録画条件で連続で録画を行います。解除する場合は、再度「緊急録画」を選択してください。

◆アラームコントロール

外部アラーム機器を接続した場合のアラーム信号の出力とブザー音のオン/オフ設定です。

アラームコントロール		
Alarm 1	<input type="checkbox"/> オン	<input checked="" type="checkbox"/> オフ
ブザー	<input type="checkbox"/> オン	<input checked="" type="checkbox"/> オフ

確認

◆お気に入り追加

名前を入力して「確認」を選択すると、録画中のデータの再生を開始したい日時としてブックマークに登録されます。



※ブックマークの再生方法は、74 ページを参照してください。

◇設定モード◇

ポップアップメニューの「設定」から「ディスプレイ」「録画」「周辺機器」「ネットワーク」「システム」の5つの項目についての設定を行います。

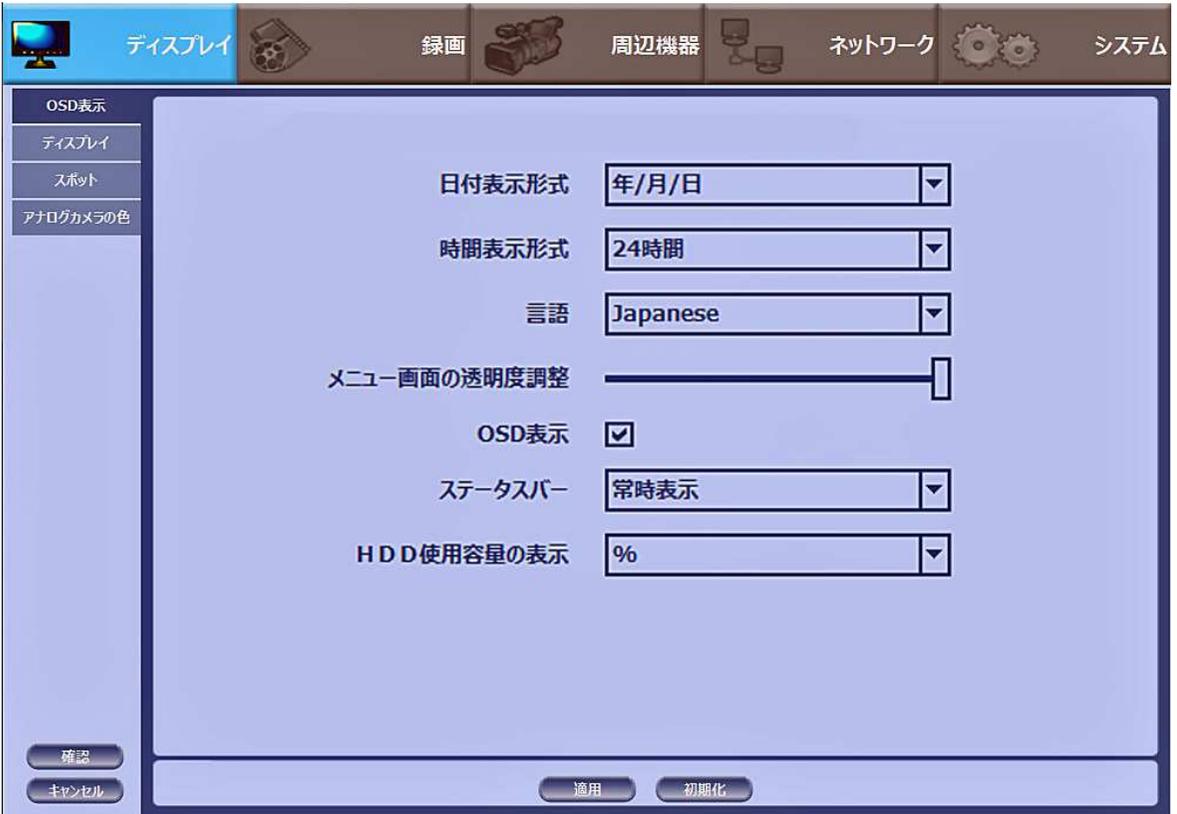


必要な設定を行うことにより、目的の録画が可能となります。

適用	変更した内容を保存
初期化	工場出荷時に戻す
確認	変更した内容を保存して終了
キャンセル	設定のキャンセル

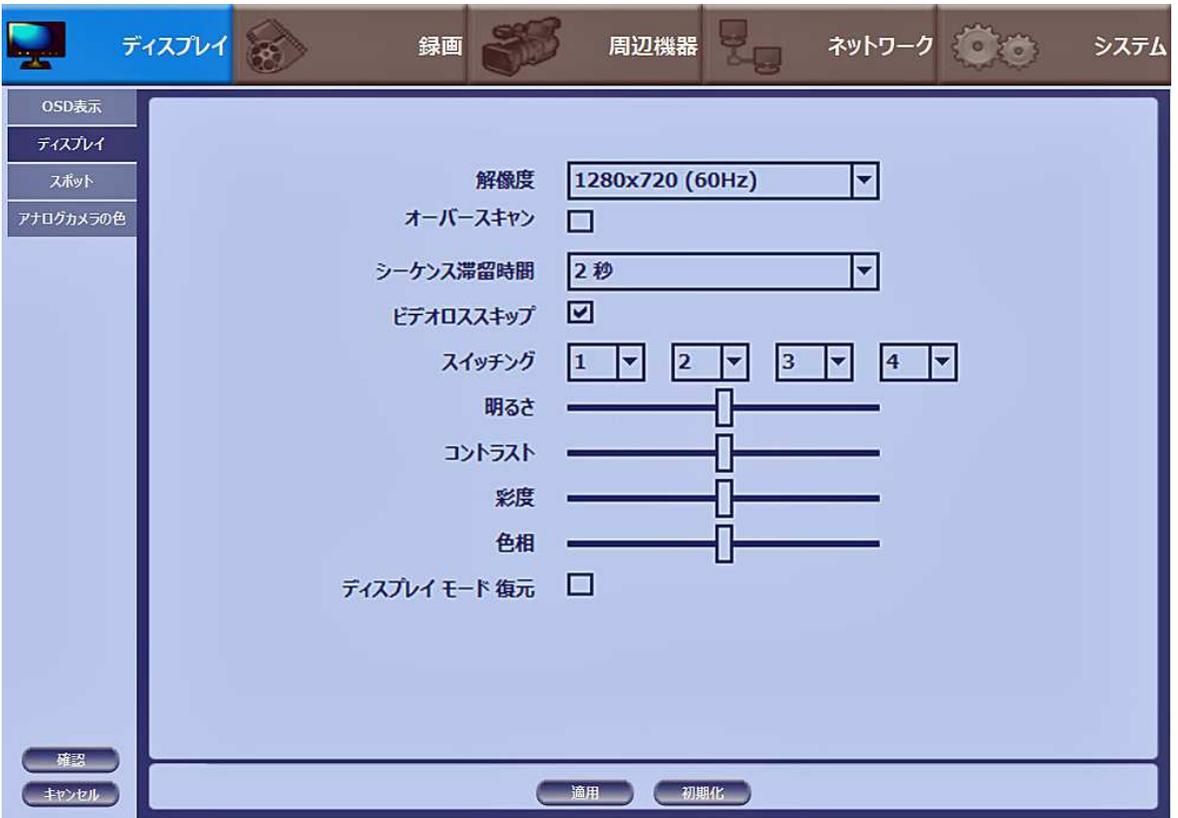
<ディスプレイ> OSD 表示/ディスプレイ/スポット/アナログカメラの色
画面表示、映像出力などの設定を行います。

◆OSD 表示（日時表示形式/言語/ライブ画面表示の設定）



日付表示形式	日付の表示形式を「年/月/日」「月/日/年」「日/月/年」より選択
時間表示形式	時刻の表示形式を「24 時間」「12 時間(午前/午後)」より選択
言語	23ヶ国語の言語をサポート
メニュー画面の透明度調整	メニュー画面の透明度を調整
OSD 表示	各チャンネルのチャンネル名とアイコンの表示/非表示を選択
ステータスバー	ステータスバーの表示を選択「常時表示」「自動隠し」「非表示」
HDD 使用容量の表示	ステータスバーに表示される HDD の使用状況を「%使用容量」または、「一番古いデータの日付」より選択

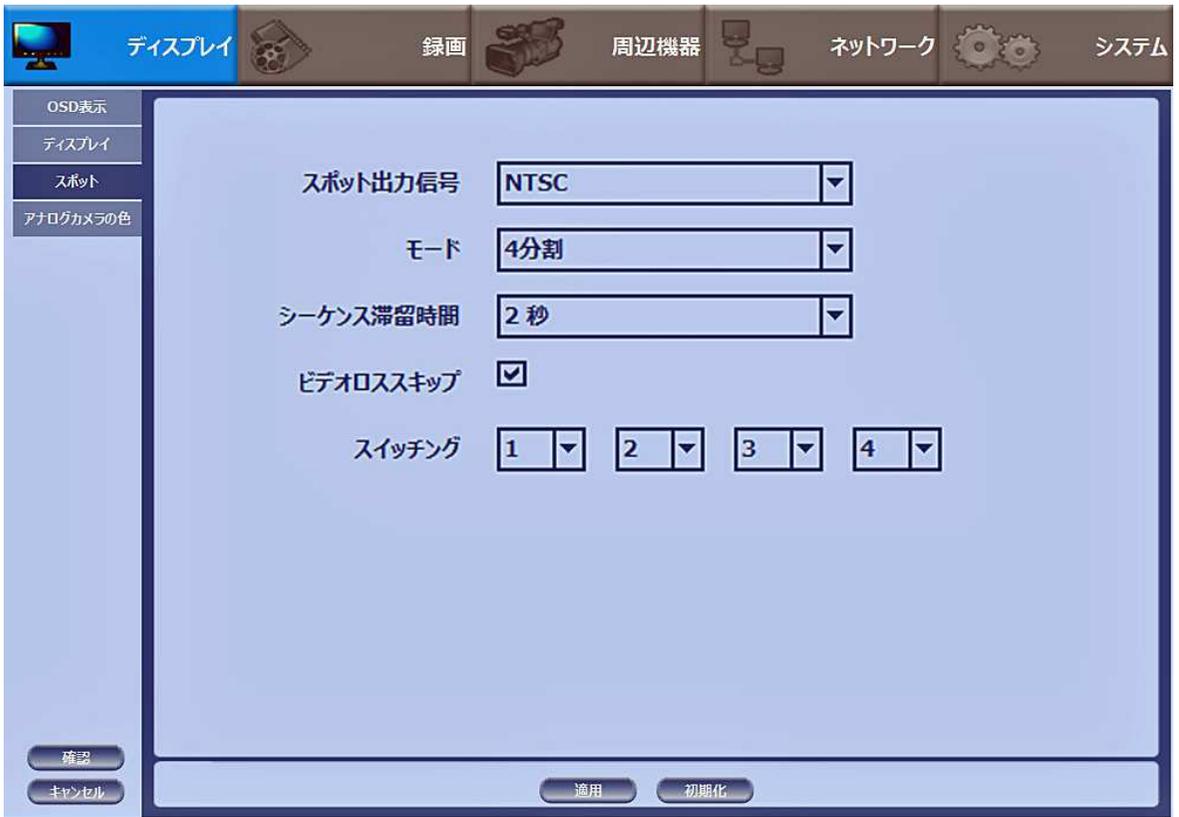
◆ディスプレイ（画面解像度/シーケンス/画面調整の設定）



解像度	モニターへ出力する解像度を選択 ※モニターの仕様を確認
オーバースキャン	全体的に画面の表示を縮小
シーケンス滞留時間	ライブ画面の画面ループ時の切り替え間隔を 1~60 秒より設定
ビデオロススキップ	画面ループ動作時に無信号チャンネルを自動的にスキップ
スイッチング	画面ループを設定するチャンネルを選択
明るさ	画面の明るさを調整
コントラスト	画面のコントラストを調整
彩度	画面の彩度を調整
色相	画面の色相を調整
ディスプレイモード復元	再起動時に電源オフ時の画面モードに戻る設定

◆スポット（スポット映像出力の設定）

スポット映像出力端子からサブモニターへ出力される映像の設定を行います。



スポット出力信号	日本では「NTSC」を選択
モード	画面への出力モードを「4分割」「1画面(画面ループ状態)」より選択
シーケンス滞留時間	画面ループ時の切り替え間隔を 1～60 秒より設定
ビデオロススキップ	画面ループ動作時に無信号チャンネルを自動的にスキップ
スイッチング	画面ループを設定するチャンネルを選択

※サブモニターには、メニュー画面は表示されません。

◆アナログカメラの色（チャンネル毎の色調整）

有線接続しているカメラの色調整を行います。



明るさ	カメラの明るさを調整
コントラスト	カメラのコントラストを調整
彩度	カメラの彩度を調整
色相	カメラの色相を調整
シャープネス	カメラのシャープネスを調整
初期化	初期の設定値へリセット
全 CH 適用	全てのチャンネルに同じ設定を適用

※IP カメラを接続しているチャンネルは、色調整ができません。

<録画> 録画/グループ/スケジュール/休日/イベント入力

録画に関する設定を行います。

◆コーデック（録画条件の設定）

The screenshot shows a web-based configuration interface for recording settings. The top navigation bar includes 'ディスプレイ', '録画', '周辺機器', 'ネットワーク', and 'システム'. The '録画' (Recording) section is active, showing a sidebar with 'コーデック', '録画', 'グループ', 'スケジュール', '休日', and 'イベント入力'. The main area is titled 'タイムスタンプ' and contains settings for 'カメラ1'. Under '音声' (Audio), there is a checkbox for '音声' (checked) and a 'メインストリーム' (Main Stream) section with dropdowns for 'コーデックと解像度' (H265 5MP), 'コマ数' (12.0), and '画質' (CBR). A 'ビットレート自動' checkbox is checked, and a 'ビットレート(平均)' slider is set to 3450 Kbps (range 100 ~ 10000 Kbps) with a '全CH適用' button. Below is a 'サブストリーム' (Sub Stream) section with similar settings: 'コーデックと解像度' (H265 640x352), 'コマ数' (12.0), '画質' (CBR), 'ビットレート自動' checked, and 'ビットレート(平均)' slider set to 200 Kbps (range 100 ~ 10000 Kbps) with a '全CH適用' button. At the bottom, a summary shows '合計 14.4 (120) (4MP 120fps) (0.4/25M)' and '推定録画日数 47.15 日'. Buttons for '確認', 'キャンセル', '適用', and '初期化' are visible.

タイムスタンプ	録画データに日時をスタンプ
音声	音声の有効/無効
コーデックと解像度	録画の圧縮方式と解像度を設定
コマ数	録画のフレーム数を設定
画質	録画の画質を「CBR(固定)」「高」「普通」「低」より設定(79 ページ参照)
ビットレート自動	録画のビットレート値を自動で設定 ※基本的には自動に設定して使用
ビットレート	録画のビットレート平均値を設定
全 CH 適用	全てのチャンネルに同じ設定を適用
コーデックと解像度	サブストリームの圧縮方式と解像度を設定
コマ数	サブストリームのコマ数を設定
画質	サブストリームの画質を「CBR(固定)」「高」「普通」「低」より設定
ビットレート自動	サブストリームのビットレート値を自動で設定
ビットレート	サブストリームのビットレート平均値を設定
全 CH 適用	全てのチャンネルに同じ設定を適用
合計	全チャンネルの合計のフレーム数とデータ通信量を表示
推定録画日数	推定される録画可能な日数を表示

「コーデックと解像度」は、接続しているカメラの映像信号を自動的に認識して入力されます。

◆録画（録画の方法とイベント録画の設定）

録画の方法には、連続で録画する「連続録画」とイベント発生時だけ録画をする「モーション検出録画」「アラーム検知録画」「POS入力録画」があります。

録画タイプ: 連続 [全CH適用]

イベント録画

継続時間: 15 秒

プレアラーム: 5 秒

コーデック

メインストリーム: 5MP@12 4750Kbps

サブストリーム: 640x352@12 200Kbps

合計 57.6 (60) (4MP 60fps) (2.5/25M)

確認 キャンセル 適用 初期化

録画タイプ	録画の方法を「連続」「イベント」「連続+イベント」より選択
全 CH 適用	全てのチャンネルに同じ設定を適用
継続時間	イベント録画設定時のイベント検出時点からの録画時間を 5～60 秒より選択
プレアラーム	イベント録画設定時のイベント検出時点前の録画時間を 0～10 秒より選択
メインストリーム	メインストリームに設定されている録画解像度とフレームレートを表示
サブストリーム	サブストリームに設定されている録画解像度とフレームレートを表示
合計	全チャンネルの合計のフレーム数とデータ通信量を表示

録画のタイプを「連続+イベント」に設定した場合は、イベント検出が無ければ連続録画が実行され、イベント検出時のみにイベント録画が実行されます。

※サブストリームは、ネットワーク遠隔監視のライブ画面の解像度に関わる設定です。録画の解像度・コマ数・画質には無関係ですが、設定値により全体の録画可能日数が変動しますので、「コーデック」画面での設定値は、できるだけ低くしてください。

●イベント録画について

「イベント録画」とは、何らかの信号を検知したときに録画を開始する機能です。

信号を検知してから5～60秒の間で、設定した時間だけ録画した後に録画を停止して録画待機状態になります。

「録画」設定の「録画タイプ」を「イベント」に設定してください。次に「継続時間」と「プレアラーム」を設定します。(29ページ参照)

「イベント録画」は、「モーション検出録画」と「アラーム検知録画」の2種類があります。

「モーション検出録画」は、画面上に動きがあった時だけ録画するモードです。無駄が無く、ハードディスクの使用量の節約ができます。動体を検出し続けている場合は、検出反応が無くなるまで連続で録画をします。

「周辺機器」の「モーション検出」設定画面にて、検出感度と検知範囲を設定します。(38ページ参照) モーション検出録画設定が有効になると、自動的に録画待機状態になります。

動体を検出すると録画が開始され、動体を検出したチャンネルの画面左上に動体検出マークと録画中のマークが表示されます。

※動体検知録画に関する注意

モーション検出は、人感センサーとは異なり、動きの大きさ・速さ・撮影場所の明るさの変化など、様々な条件により起動にばらつきがあります。遅い動きには反応し難く、暗くなると感度が下がったりします。

撮影状態に合わせた感度設定をしてください。感度は、高めに設定することをお勧めします。

確実な記録を残したい場合は、モーション検出録画はお勧めできません。連続録画で録画してください。

暗所の撮影は動体を検出し難いため、夜間撮影での設定はお控えください。

「アラーム検知録画」は、外部センサーからの信号を受けて録画を開始するモードです。

使用するセンサーに応じて、「周辺機器」の「アラーム出力」の「センサータイプ」を設定します。(39ページ参照)

アラーム検知録画設定が有効になると、自動的に録画待機状態になります。

センサーの信号を検知すると録画が開始され、信号を検知したチャンネルの画面左上にアラーム検知マークと録画中のマークが表示されます。

※録画中に停電などで電源が切れた場合は、再び電源が入ると元の録画状態に戻ります。但し、システム終了操作をせずに電源を切ったこととなりますので、ハードディスクのトラブルを避けるため、ハードディスクをフォーマットすることをお勧めします。(63ページ参照)

◆グループ（スケジュール録画をする場合のグループ設定）

スケジュール録画に使用する「グループ」の設定を行います。

スケジュール録画では、このグループ毎に違う曜日・時刻で録画を設定することができます。

The screenshot shows a software interface for recording settings. At the top, there are navigation tabs: ディスプレイ, 録画 (selected), 周辺機器, ネットワーク, システム. On the left, there is a sidebar with options: コーテック, 録画, グループ (selected), スケジュール, 休日, イベント入力. The main area is titled 'グループ A' and contains the following settings:

- 録画タイプ: 連続 (dropdown), 全CH適用 (button)
- イベント録画
- 継続時間: 15秒 (dropdown)
- プレアラーム: 5秒 (dropdown)
- コーデック
- メインストリーム: 5MP@12 4750Kbps (text box)
- サブストリーム: 640x352@12 200Kbps (text box)
- 合計: 57.6 (60) (4MP 60fps) (2.5/25M)

At the bottom, there are buttons for 確認, キャンセル, 適用, and 初期化.

グループ	スケジュール録画のグループを「A」「B」「C」「D」より選択
録画タイプ	スケジュール録画の方法を「連続」「イベント」「連続+イベント」より選択
全 CH 適用	全てのチャンネルに同じ設定を適用
継続時間	イベント検出時点からの録画時間を 5～60 秒より選択
プレアラーム	イベント検出時点前の録画時間を 0～10 秒より選択
メインストリーム	メインストリームに設定されている録画解像度とフレームレートを表示
サブストリーム	サブストリームに設定されている録画解像度とフレームレートを表示
合計	全チャンネルの合計のフレーム数とデータ通信量を表示

録画タイプで設定したスケジュール録画の方法などにより、グループ毎に細かな録画動作の設定が可能です。（連続録画・イベント録画・連続+イベント録画/継続時間・プレアラームなど）録画タイプを「連続+イベント」に設定した場合は、イベント検出が無ければ連続録画が実行され、イベント検出時のみにイベント録画が実行されます。

グループ「A」「B」「C」「D」設定終了毎に「適用」を選択してください。

※スケジュール録画の設定方法は、32 ページを参照してください。

◆スケジュール（スケジュール録画の設定）

スケジュール録画では、4つのグループを曜日、時間毎に設定することができます。

スケジュール録画の設定画面のスクリーンショット。左側のメニューには「ユーテック」「録画」「グループ」「スケジュール」「休日」「イベント入力」があります。中央には「スケジュール」の設定が示されています。

スケジュール設定:

- スケジュールオン:
- 休日設定:

グループ設定:

グループ	設定
なし	<input type="checkbox"/>
A	<input checked="" type="checkbox"/>
B	<input type="checkbox"/>
D	<input type="checkbox"/>

ステータス:

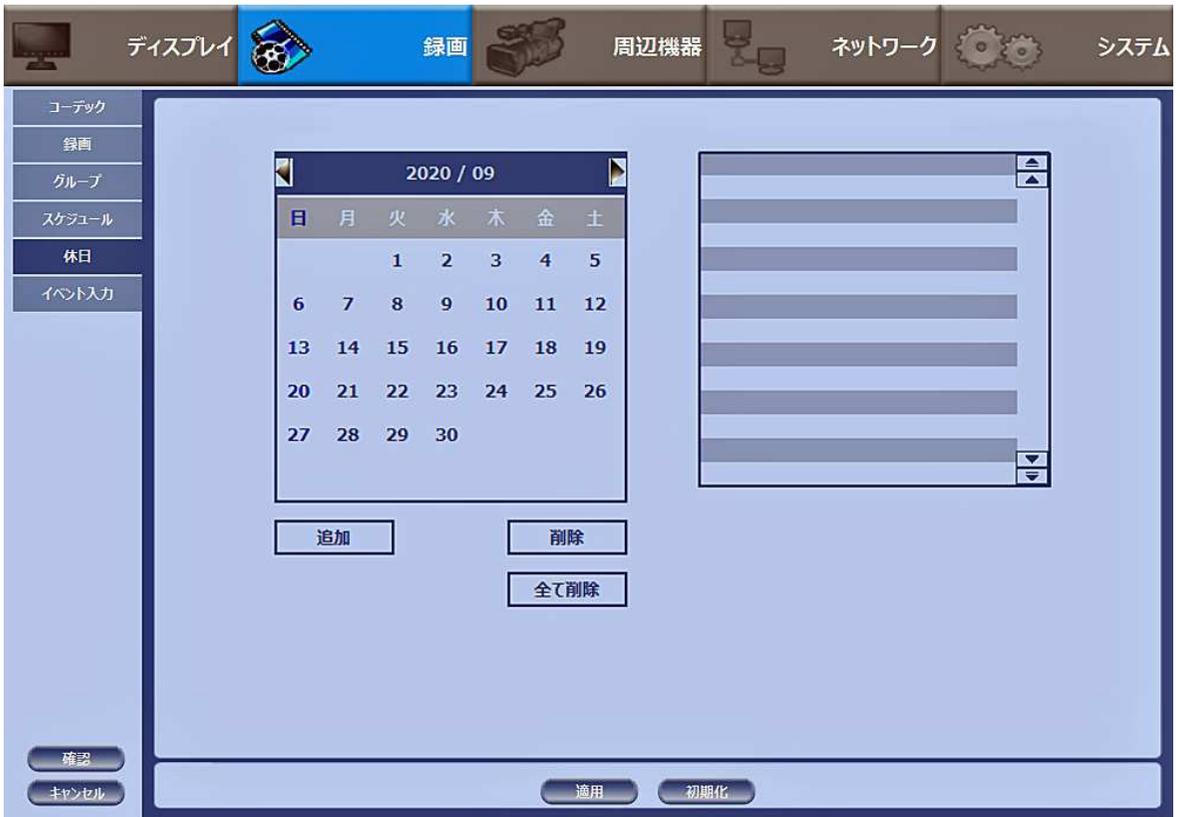
ステータス	1	2	3	4
なし	なし	なし	なし	なし

- ・「スケジュールオン」にチェックを入れて、スケジュール録画を有効にします。
- ・設定した休日に録画を行わない場合はチェックを入れてください。
- ・グループを選択して、スケジュール表の曜日・時刻の領域を選択します。曜日のみを選択すると、選択した曜日が一括設定されます。時刻のみを選択すると、選択した時刻が一括設定されます。全体的に一括設定をする場合は、マウスでドラッグしてください。
- ・スケジュール表の表示は、「+」「-」で変更することができます。(1時間または、10分単位)
- ・各チャンネルの設定状況が、「ステータス」に表示されます。

※事前に「グループ (31 ページ参照)」と「休日 (33 ページ参照)」を設定してください。

◆休日（スケジュール録画の休日設定）

録画を行わない日を「休日」としてカレンダーに登録します。



- ・ ◀または▶で年/月を選択します。
- ・ 表示されたカレンダー上の日付を選択します。
- ・ 「追加」を選択すると、右の休日表に選択した日付が登録されます。
休日に追加された日付は、オレンジ色に表示されます。
リモコンの「SEL」ボタンまたは、マウスのダブルクリックでも登録が可能です。
- ・ 「削除」を選択すると、登録された休日が削除されます。
- ・ 「全て削除」を選択すると、登録された休日が全て削除されます。

◆イベント入力（イベント発生時の録画設定）

外部センサーからの信号入力時または、モーション検出時の録画動作の設定を行います。

イベント録画をする場合は、「録画」設定の「録画タイプ」を「イベント」または「連続+イベント」に設定し、イベント録画の録画条件を設定してください。(29 ページ参照)

	イベント			
	1	2	3	4
カメラ1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カメラ2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カメラ3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カメラ4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

チェックを入れたカメラが、イベント発生時に録画を開始します。

例：「カメラ 1」の「1」にチェックを入れた場合、カメラ 1 にイベントが発生した時に、カメラ 1 のみ録画が開始されます。

「カメラ 1」の「1」「2」「3」「4」にチェックを入れた場合、カメラ 1 にイベントが発生した時に全てのカメラの録画が開始されます。

※モーション検出の設定については、38 ページを参照してください。

<周辺機器> カメラ/プライバシー/音声/モーション検出/アラーム出力/PTZ コントローラー/POS

接続する機器についての設定を行います。

◆カメラ（チャンネル毎の設定）

The screenshot shows a web-based configuration interface for a camera system. The top navigation bar includes 'ディスプレイ', '録画', '周辺機器' (selected), 'ネットワーク', and 'システム'. On the left, a sidebar lists 'カメラ', 'プライバシー', '音声', 'モーション検出', 'アラーム出力', 'PTZ', 'コントローラー', and 'POS'. The main area is titled 'カメラ' and shows settings for 'カメラ1'. At the top, '信号タイプ' is set to 'BNC' with a 'スキャン' button. Below, 'タイプ' is 'Auto' with a '削除' button. 'URL' is an empty text field. 'ID' is 'admin' with a '全CH適用' button. 'パスワード' is masked with dots and also has a '全CH適用' button. 'カメラ検出情報' is '5MP@20 (AHD)'. There are three columns: 'コーデックと解像度', 'コマ数', and 'ビットレート (Kbps)'. 'メインストリーム' is set to 4750 Kbps with a '全CH適用' button. 'サブストリーム' is set to 200 Kbps with a '全CH適用' button. An '自動ビットレート' button is below. 'カメラ名前' is 'CH 1'. At the bottom, there are checkboxes for 'カメラを無効にする', '映像隠し', and '上下反転'. A '合計 20.2/200 Mbps' indicator is at the bottom center. At the very bottom, there are '確認', 'キャンセル', '適用', and '初期化' buttons.

信号タイプ	接続するカメラを「BNC(有線カメラ)」または、「IP(IPカメラ)」より選択 「IP」に設定した場合は、「スキャン」を選択
タイプ	有線タイプのカメラの種類を「Auto」「TVI」「AHD」「CVI」より選択
URL	スキャンされたIPカメラの情報を表示
ID	スキャンされたIPカメラのIDを入力
パスワード	スキャンされたIPカメラのパスワードを入力
カメラ検出情報	接続されているカメラの映像情報を表示
メインストリーム	IPカメラのコーデックと解像度/コマ数/ビットレートを設定
サブストリーム	IPカメラのコーデックと解像度/コマ数/ビットレートを設定
自動ビットレート	IPカメラのビットレートを自動的に設定
カメラ名前	カメラのタイトルを14文字以内で入力
カメラを無効にする	カメラの接続の無効化
映像隠し	画面からカメラの映像のみを消す(録画には無関係)
上下反転	映像の上下反転機能
合計	全チャンネル合計のデータ通信量を表示

◆プライバシー（プライバシー領域の設定）

プライバシー保護のため、領域を指定して画像の一部を非表示にする機能です。指定した領域は、黒く塗りつぶされます。プライバシー領域は、最大で4ヶ所まで設定することができます。マウスのドラッグまたは、リモコンの▲▼◀▶「SEL」ボタンで領域を指定します。



全てオフ	全てのプライバシー領域を解除
全CH適用	全てのチャンネルに同じ設定を適用

※IPカメラを接続しているチャンネルは、プライバシー領域の設定ができません。

◆音声（音声チャンネルの割り当てと出力の設定）

カメラのチャンネルに音声入力を割り当てます。また、モニターに出力されるカメラのチャンネルを設定します。

The screenshot shows the '音声' (Audio) settings screen. On the left is a navigation menu with options: カメラ, プライバシー, 音声, モーション検出, アラーム出力, PTZ, コントローラー, and POS. The '音声' option is selected. The main area contains four dropdown menus for channel assignment: 'チャンネル1' (音声 1), 'チャンネル2' (音声 2), 'チャンネル3' (音声 3), and 'チャンネル4' (音声 4). Below these is a dropdown for '音声出力1 / HDMI' set to '全てオフ'. At the bottom are buttons for '確認', 'キャンセル', '適用', and '初期化'.

チャンネル 1～4	カメラのチャンネル 1～4 に音声入力を割り当て 「なし」「音声 1(音声入力端子 1)」「音声 2(音声入力端子 2)」「音声 3(音声入力端子 3)」「音声 4(音声入力端子 4)」「ONVIF(IP)」
音声出力 1/HDMI	ライブ画面のスピーカーに出力するカメラのチャンネルを「全エリア解除(音声出力無し)」「チャンネル 1～4」より選択

◆モーショント検出（モーシント検知領域と感度の設定）

モーシント（動体）の検知領域と検出感度をチャンネル毎に設定します。

検知領域は、マウスのドラッグまたは、リモコンの▲▼◀▶「SEL」ボタンで設定します。



設定された検知領域は、緑色の丸で表示されます。モーシントを検知した領域が、緑色から赤色の表示に変わります。

感度	検知感度を「高」「中」「低」より選択
全エリア選択	画面全体を検知領域に設定
全てオフ	全ての検知領域を解除
全 CH 適用	全てのチャンネルに同じ設定を適用

◆アラーム出力（イベント時の外部出力信号の設定）

イベント(外部センサー検知/モーション検知/POS 入力/ビデオロス)発生時に外部機器接続端子から外部機器に出力される信号の設定とアラーム動作の設定を行います。

センサータイプ	外部機器接続端子に接続するセンサーの方式を選択
センサー入力	センサーからの信号入力時のアラームの動作を選択
モーション検出	モーション検出時のアラームの動作を選択
モーション+センサー	センサーからの信号入力+モーション検出時のアラームの動作を選択
POS	POS からの信号入力時のアラームの動作を選択 ※日本国内での POS 機との連動はできません。
ビデオロス	ビデオロス時のアラームの動作を選択
継続時間	イベント発生時のアラーム動作の継続時間を設定
名前	外部機器に出力される信号に名前を設定

●センサータイプ

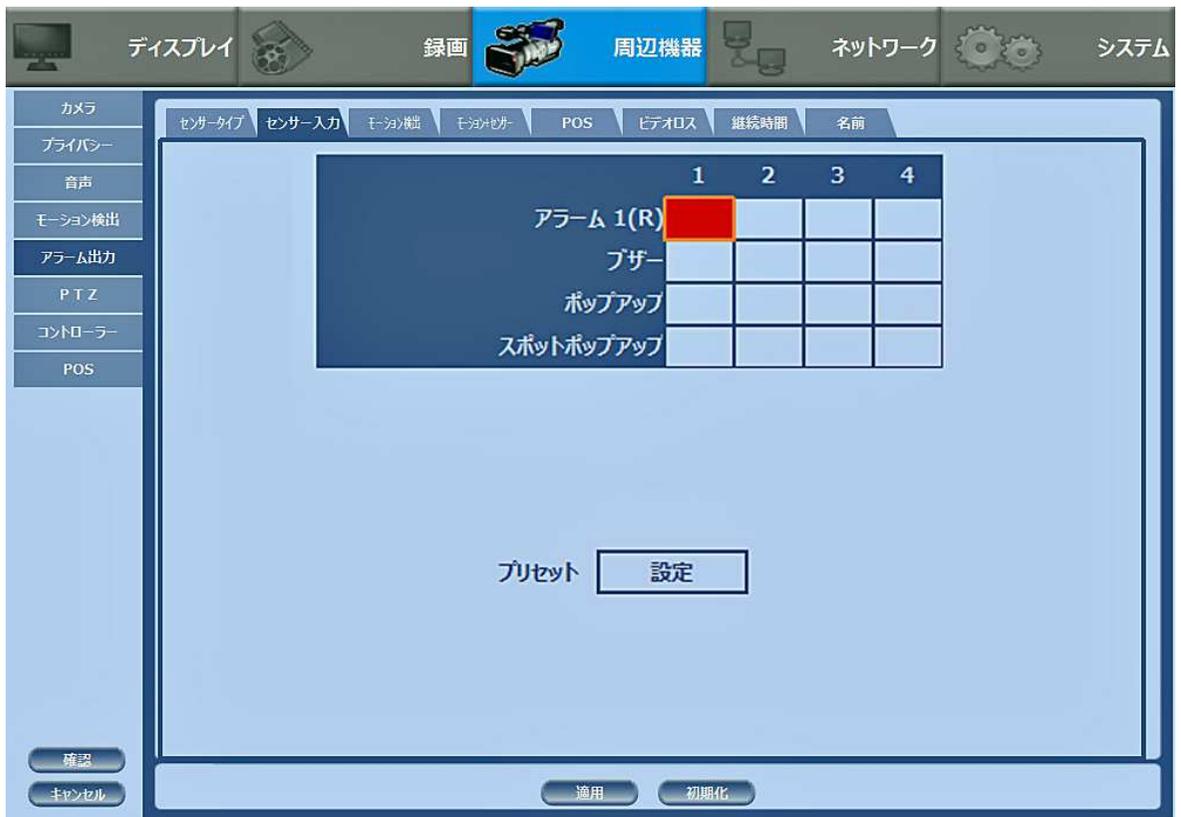
外部機器接続端子に接続するセンサーの方式を設定します。

タイプ	外部機器端子に接続するセンサーの方式を「N.O(ノーマルオープン)」「N.C(ノーマルクローズ)」より選択
チャンネル	外部機器端子に接続したセンサーの方式とチャンネルを割り当て

※外部センサーの接続方法については、78 ページを参照してください。

●センサー入力

外部機器接続端子に接続したセンサーからの信号入力時のアラームの動作を選択します。



アラーム 1(R)	外部機器接続端子の RELAY 出力に接続しているアラーム機器
ブザー	内蔵ブザー音を鳴動
ポップアップ	モニターの画面を 1 画面表示
スポットポップアップ	スポット映像出力端子に接続しているモニターの画面を 1 画面表示
プリセット	カメラを自動巡回 (19~20 ページ参照)

センサーと接続しているチャンネルを選択してください。選択したチャンネルの枠が赤色に変わります。

※センサーが動作しない場合は、センサーの方式を再度確認してください。

※外部センサーとアラーム機器の接続方法については、78 ページを参照してください。

※アラームを動作させる場合は、「録画タイプ」を「イベント」に設定してください。(29 ページ参照)

※プリセットを動作させる場合は、「PTZ」設定の「プリセット」を設定してください。

(19~20 ページ参照)

●モーション検出

モーション検出時のアラームの動作を選択します。



アラーム 1(R)	外部機器接続端子の RELAY 出力に接続しているアラーム機器
ブザー	内蔵ブザー音を鳴動
ポップアップ	モニターの画面を 1 画面表示
スポットポップアップ	スポット映像出力端子に接続しているモニターの画面を 1 画面表示
プリセット	カメラを自動巡回 (19~20 ページ参照)

モーション検出設定をしているチャンネルを選択してください。選択したチャンネルの枠が赤色に変わります。

※モーション検出の設定方法については、38 ページを参照してください。

※アラームを動作させる場合は、「録画タイプ」を「イベント」に設定してください。(29 ページ参照)

※プリセットを動作させる場合は、「PTZ」設定の「プリセット」を設定してください。
(19~20 ページ参照)

●モーション+センサー

外部機器接続端子に接続されているセンサーからの信号入力時または、モーション検出時のアラームの動作を選択します。



アラーム 1(R)	外部機器接続端子の RELAY 出力に接続しているアラーム機器
ブザー	内蔵ブザー音を鳴動
ポップアップ	モニターの画面を 1 画面表示
スポットポップアップ	スポット映像出力端子に接続しているモニターの画面を 1 画面表示
プリセット	カメラを自動旋回 (19~20 ページ参照)

センサーと接続しているチャンネルまたは、モーション検出設定をしているチャンネルを選択してください。選択したチャンネルの枠が赤色に変わります。

※センサーが動作しない場合は、センサーの方式を再度確認してください。

※外部センサーとアラーム機器の接続方法については、78 ページを参照してください。

※モーション検出の設定方法については、38 ページを参照してください。

※アラームを動作させる場合は、「録画タイプ」を「イベント」に設定してください。(29 ページ参照)

※プリセットを動作させる場合は、「PTZ」設定の「プリセット」を設定してください。

(19~20 ページ参照)

●POS

POS からの信号入力時のアラームの動作を選択します。



アラーム 1(R)	外部機器接続端子の RELAY 出力に接続しているアラーム機器
ブザー	内蔵ブザー音を鳴動
ポップアップ	モニターの画面を 1 画面表示
スポットポップアップ	スポット映像出力端子に接続しているモニターの画面を 1 画面表示

POS に接続しているチャンネルを選択してください。選択したチャンネルの枠が赤色に変わります。

※POS の接続と設定方法については、50 ページを参照してください。

※アラームを動作させる場合は、「録画タイプ」を「イベント」に設定してください。(29 ページ参照)

※日本国内での POS 機信号との連動はできません。

●ビデオロス

カメラの映像が途切れた場合のアラームの動作を選択します。



アラーム 1(R)	外部機器接続端子の RELAY 出力に接続しているアラーム機器
ブザー	内蔵ブザー音を鳴動
ポップアップ	モニターの画面を 1 画面表示
スポットポップアップ	スポット映像出力端子に接続しているモニターの画面を 1 画面表示

ビデオロス時にアラームを出力するチャンネルを選択してください。選択したチャンネルの枠が赤色に変わります。

●継続時間

イベント発生時のアラーム動作の継続時間を設定します。



アラーム 1(R)	アラーム 1(R)の動作時間を 5～60 秒より選択
ブザー	ブザーの鳴動時間を 5～60 秒より選択
ポップアップ	ポップアップの表示時間を 5～60 秒より選択
スポットポップアップ	スポットポップアップの表示時間を 5～60 秒より選択
プリセット	プリセットの動作時間を 5～60 秒より選択

●名前

外部機器接続端子の RELAY 端子から出力されるアラーム信号に名前を設定します。



●プリセット

センサー入力 - プリセット

センサー 1 2 3 4

Camera1	なし	Camera2	なし
Camera3	なし	Camera4	なし

確認 キャンセル

モーション検出 - プリセット

モーション 1 2 3 4

Camera1	なし	Camera2	なし
Camera3	なし	Camera4	なし

確認 キャンセル

モーション+センサー - プリセット

モーション+センサー 1 2 3 4

Camera1	なし	Camera2	なし
Camera3	なし	Camera4	なし

確認 キャンセル

Camera1～Camera4 にイベントが発生した場合に自動旋回するプリセットポジションを「プリセット 1」～「プリセット 32」より設定します。

※プリセットポジションは、事前に設定してください。(19～20 ページ参照)

◆PTZ（パン・チルト・ズームカメラの設定）

接続している PTZ カメラ・UTC 対応カメラの設定と動作確認を行います。

「UTC」に対応しているカメラの OSD メニューを遠隔から制御することができ、PTZ カメラの水平垂直旋回とズームの動作を制御することができます。



PTZ カメラを接続しているチャンネルを「カメラ 1」～「カメラ 4」より選択します。

ドライバー	接続している PTZ カメラのプロトコルを選択 ※「Auto」を選択すると、接続されている PTZ カメラのプロトコルを自動識別しますが、正常に動作しない場合は、適正なプロトコルを選択してください。
アドレス	接続している PTZ カメラのアドレスを選択
伝送速度	接続している PTZ カメラのプロトコルに合わせた伝送速度を選択
全 CH 適用	全てのチャンネルに同じ設定を適用
▲▼◀▶	旋回動作の確認/メニュー画面での上下左右操作
メニュー	カメラのメニュー画面を表示/項目の決定
ズーム	ズーム動作の確認
フォーカス	焦点調整動作の確認
アイリス	アイリス調整動作の確認

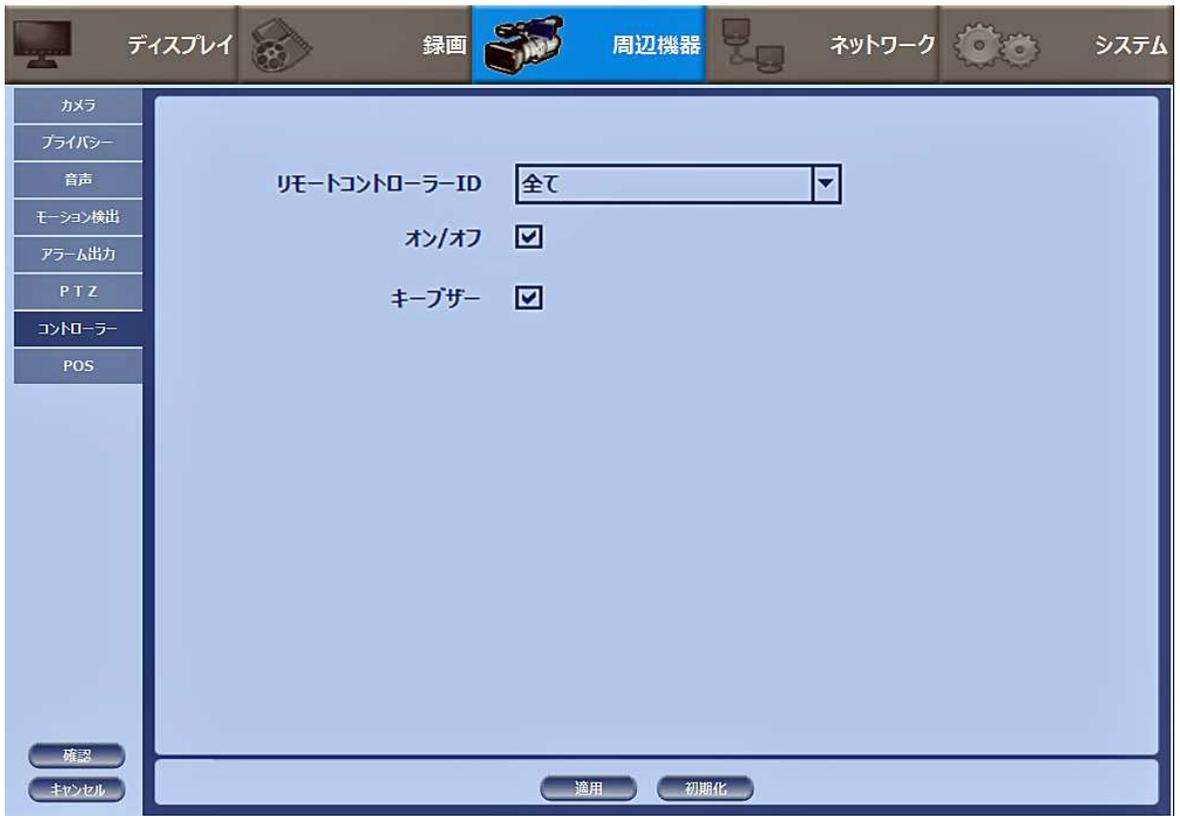
※PTZ カメラが動作しない場合は、PTZ カメラの接続を再度確認してください。(78 ページ参照)

※PTZ カメラの仕様により、動作しない場合があります。

※カメラの OSD メニュー設定は、UTC 対応のカメラのみに有効です。

◆コントローラー（リモコンに関する設定）

本機が複数台同じ場所に設置される場合に、リモコンに ID を設定して 1 対 1 で操作をすることができます。



リモートコントローラーID	リモコンに設定する ID を「00」～「99」より選択
オン/オフ	※本機では設定の必要はありません。
キーブザー	リモコン操作時のブザー音のオン/オフ

リモコン側の ID を設定した「リモートコントローラーID」の数字に合わせます。
リモコンを本機のリモコン受光部に向け、「ALL」ボタンを押した後に、選択した ID の数字のボタンを押します。

◆POS（POS レジとの接続設定）

POS レジと接続して、取り引き情報を同時に録画することができます。

チャンネル	POS に接続しているチャンネルを選択
伝送速度	POS の伝送速度を選択
データビット	POS のデータビットを選択 (7:7bit データ/8:8bit データ)
初めの文字	イベントが開始される最初の文字を入力
最後の文字	イベントが終了される最後の文字を入力
単語を無視	文字列全体の画面で除外する文字を入力
テキストをスキップ	文字列全体の画面で除外する文字の位置を入力 (ex Apple 文字省略 0~2 設定時 ple に出力)
追加行の数	最後の文字列出力後に、更に挿入される行数を入力 (0~4)
表示位置	画面に表示される文字の位置を「左上」「左下」「右上」「右下」より選択
テキストオーバーレイの長さ	POS 情報が画面に表示される時間を 60~120 秒より選択
テキストの色	画面に表示される文字の色を 6 色より選択
テキストサイズ	画面に表示される文字のサイズを 12~24 より選択

POS の設定情報を事前に確認してください。

USB ケーブルを使用して、POS レジと本機前面の USB ポートを接続します。

「アラーム出力」の「POS」を設定すると、取り引き情報がライブ画面に表示され、同時に録画されます。(43 ページ参照) ※日本国内での POS 機信号との連動はできません。

<ネットワーク> アドレス/マジック IP/ポート/DDNS/電子メール/ストリーミング/ステータス

ネットワーク接続についての設定を行います。

遠隔監視の方法については、別冊の取扱説明書「遠隔監視編」をご確認ください。

◆アドレス（ネットワーク情報の設定）

遠隔監視をするためのネットワーク情報を設定します。

The screenshot shows the network configuration screen. The 'ネットワーク' menu is active. The settings are as follows:

DVR名	DVR 1
MACアドレス	00:09:1b:33:e9:6c
タイプ	イーサネット
LAN	
DHCP	<input type="checkbox"/>
IPアドレス	192.168.1.225
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.1.1
DNS自動取得	<input checked="" type="checkbox"/>
DNS IP	168.126.63.1

DVR 名	ネットワーク接続に使用する名前を設定
MAC アドレス	本機の MAC アドレスを表示
タイプ	イーサネット固定
DHCP	接続中の LAN 情報を読み込んで、IP アドレス/サブネットマスク/ゲートウェイを自動的に割り当て
IP アドレス	LAN 内で使用する本機の IP アドレスを入力
サブネットマスク	サブネットマスクの IP アドレスを入力
ゲートウェイ	ゲートウェイの IP アドレスを入力
DNS 自動取得	DNS の IP アドレスを自動的に入力
DNS IP	DNS の IP アドレスを入力

◆マジック IP (P2P の設定)

生成される QR コードをスマートフォンの専用アプリでスキャンして、簡単にネットワークに接続することができます。

マジック IP	P2P 接続の有効/無効
名前	P2P 接続に使用する ID を設定 ※ID は、アルファベットから開始する 8 文字以上で設定してください。
テスト	テストが成功すると、自動的に QR コードを生成
ステータス	ネットワークの接続状況を表示

※専用アプリの使用方法は、別冊の取扱説明書「遠隔監視編」をご確認ください。

◆ポート（各ポートの設定）

監視/検索/設定/Web/RTSP に使用する各ポートの設定を行います。

監視	監視に使用するポートを設定
検索	検索に使用するポートを設定
設定	設定に使用するポートを設定
ウェブ, ONVIF	ウェブに使用するポートを設定
RTSP	RTSP のポートを入力
uPNP	使用できるポートを自動的に割り当て
UPNP テスト	UPNP のテスト
ステータス	UPNP のテスト結果を表示

※ネットワーク遠隔監視で「DDNS」または、「固定 IP アドレス」を使用する場合は、ブロードバンドルーターで、監視/検索/設定/ウェブに設定したポート番号のポート開放設定をする必要があります。

◆DDNS（ダイナミック DNS の設定）

DDNS は、プロバイダーから動的に割り当てられる IP アドレスが変更になった場合に、新しい IP アドレスを DNS サーバーへ通知して、固定のドメインに繋ぐ機能です。

ルーターのグローバル IP アドレスは、度々変更されるので、固定 IP アドレスを取得していない場合に DDNS を使用します。

DDNSタイプ

DDNSサーバー

ドメイン名

継続時間

ステータス

DDNS タイプ	「dvrinside.com」を選択 ※「dvrinside.com」が専用の無償 DDNS となります。
DDNS サーバー	自動的に「dvrinside.com」を表示
ドメイン名	自動的にドメイン名を表示
継続時間	DDNS サーバーと同期させる間隔を 5 分～1 日の間で設定
DDNS 接続テスト	DDNS の接続テスト
ステータス	DDNS の接続テストの結果を表示

◆電子メール（E-mail 送信の設定）

検出されたイベント情報をメール送信する機能です。

電子メール・オン	メール送信の有効/無効を設定
受信者(1)(2)	受信者のメールアドレスを入力
イベント設定	メール送信するイベントの内容を設定
キャプチャ設定	一定周期で静止画をメール送信
送信者	送信者のメールアドレスを入力
SMTPサーバー	送信元のSMTPサーバーを入力
ポート	送信元のメールポートを入力
認証	メール送信の認証についての有効/無効
SSL	メール送信のSSL証明書についての有効/無効
アカウント	送信者のメールアカウントを入力
パスワード	送信者のメールアカウントパスワードを入力
スケジュール	設定した「開始」時刻～「終了」時刻の間だけメールを送信
開始	「スケジュール」の開始時刻を設定
終了	「スケジュール」の終了時刻を設定
電子メールテスト	メール送信のテスト

※SMTPサーバーや送信ポート、SSL等は、メールアドレスを管理するプロバイダーなどへお問合せください。

●イベント設定

メール送信するイベントの種類と送信内容を設定します。

センサー	外部センサーからの信号入力時にメールを送信
モーション	モーション検出時にメールを送信
ビデオロス	カメラの映像が途切れた時にメールを送信
POS	POS からの信号入力時にメールを送信 ※日本国内での POS 機信号との連動はできません。
S.M.A.R.T	ハードディスクの自己診断結果の異常をメールで送信
システムログ	システムログ履歴をメールで送信
画像を追加	イベント発生時の静止画をメールで送信
インターバル	メールを送信する時間間隔を 1 秒～5 分より選択

●キャプチャ設定

一定周期で静止画をメール送信します。

チャンネル	静止画をメール送信するチャンネルを選択
インターバル	メール送信の間隔を 1～24 時間より選択

◆ストリーミング（映像伝送条件の設定）

ネットワーク通信に使用される映像伝送の条件をカメラ毎に設定します。

接続しているカメラにより、「解像度」「コマ数」「画質」が、チャンネル毎に自動的に認識されます。

オン	ネットワーク接続の有効/無効を設定 ※無効に設定した場合は、ネットワーク接続で映像が表示されません。
高解像度	「録画」の「コーデック」のメインストリーム設定値を反映
コマ数	「録画」の「コーデック」のメインストリーム設定値を反映
画質	「録画」の「コーデック」のメインストリーム設定値を反映
帯域幅	チャンネル毎に「高解像度」の映像伝送帯域幅を表示
低解像度	接続しているカメラの映像信号を認識して自動的に入力
コマ数	「低解像度」のフレームレートを設定
画質	「低解像度」の画質を設定
帯域幅	チャンネル毎に「低解像度」の映像伝送帯域幅を表示
合計	全チャンネルの合計のフレームレートを表示

ネットワーク接続時のライブ画面で、1画面の場合が「高解像度」、4分割の場合が「低解像度」で表示されます。

◆ステータス（アクセス状況）

ネットワーク接続のアクセス状況を表示しています。

User	IP	Port	Kbps	Description
admin	192.168.1.94	8000	2.88	watch
admin	192.168.1.94	8000	0.02	search
admin	153.169.83.34	8000	7190.33	watch
admin	153.169.83.34	8000	0.02	search
admin	153.169.83.34	8000	0.02	search
admin	153.169.83.34	8000	323.70	setup

合計	接続中のユーザーの合計の伝送速度を表示
User	接続中のユーザーID を表示
IP	接続中のユーザーの IP アドレスを表示
Port	接続中のユーザーが使用しているポートを表示
Kbps	接続中のユーザーが使用している伝送速度を表示
Description	接続中のユーザーのモードを表示

<システム> 日付・時間/ユーザー権限/HDD/S.M.A.R.T/システムログ/設定

システムの管理についての設定を行います。

◆日付/時間（日時に関する設定）

タイムゾーン・日時・タイムサーバーの設定を行います。

The screenshot shows a web-based system settings interface. At the top, there is a navigation bar with icons and labels for 'ディスプレイ' (Display), '録画' (Recording), '周辺機器' (Peripherals), 'ネットワーク' (Network), and 'システム' (System). The 'システム' menu is active, showing a sidebar with options: '日付/時間' (Date/Time), 'ユーザー権限' (User Permissions), 'HDD', 'S.M.A.R.T', 'システムログ' (System Log), and '設定' (Settings). The main content area is titled '日付/時間' and contains the following settings:

- タイムゾーン** (Time Zone): A dropdown menu set to 'GMT+09:00 Osaka, Sapporo, Tokyo'.
- サマータイム** (Summer Time): A checkbox that is currently unchecked.
- 日付** (Date): A date picker set to '2020/09/30'.
- 時間** (Time): A time picker set to '11:50:27'.
- NTPサーバー** (NTP Server): A dropdown menu set to 'time.google.com'.
- 時間連動周期** (Time Synchronization Cycle): A dropdown menu set to '1日' (1 day).

At the bottom of the settings area, there is a '時間同期' (Synchronize Time) button. Below the settings area, there are three buttons: 'システム終了' (End System), '確認' (Confirm), and 'キャンセル' (Cancel). At the very bottom, there are two buttons: '適用' (Apply) and '初期化' (Reset).

タイムゾーン	設置する国に合わせてタイムゾーンを選択 ※日本では、「GMT+09:00」に設定します。
サマータイム	夏時間の有効/無効を設定 ※日本では、設定の必要はありません。
日付	現在の日付を設定
時間	現在の時刻を設定
NTPサーバー	時刻を同期させるタイムサーバーのアドレスを入力 「time.google.com」「ntp.nict.jp」「time.windows.com」など ※ネットワークとの接続が必要です。 ※タイムゾーンを間違いなく設定してください。
時間連動周期	タイムサーバーとの同期のサイクルを 12 時間～1 週間より設定
時間同期	システム間の時刻をタイムサーバーと同期

◆ユーザー権限（操作権限の設定）

管理者権限とユーザー毎の操作権限、パスワードと自動再起動の設定を行います。

ユーザーは、15人まで登録が可能です。チェックを入れて権限が許可になります。

ID	ユーザーIDを設定 ※「admin」は管理者なのでIDの変更はできません。
パスワード	ログインパスワードを設定 ※ユーザー権限の設定には、必ずパスワードが必要です。
設定	メニュー設定の変更権限
日付/時間	日時の変更権限
検索	録画データの再生権限
バックアップ	録画データのバックアップ権限
PTZ	PTZカメラの操作権限
ネットワーク	ネットワーク接続の権限
ネットワークイベント通知	ネットワークイベント通知を受ける権限
カメラ	カメラ毎の視聴権限
キーロック	ユーザー毎に自動ロック時間を設定
パスワード変更周期	パスワードの変更周期を「なし」または1ヶ月～3ヶ月毎より設定
自動再起動	自動再起動のサイクルを1週間ごと～5週間ごとより選択し、再起動する曜日と時刻を設定

●パスワードの設定

「設定」を選択すると、パスワード入力画面が表示されます。

現在のパスワードを入力して「確認」を選択します。(初期設定は空白)

新しいパスワードを入力して「確認」を選択します。

新しいパスワードを再度入力し、「確認」を選択して設定終了です。

パスワードは、大文字の英字・小文字の英字・数字・記号から3つ以上を組み合わせた10文字以上で設定してください。

※設定したパスワードは、絶対に忘れないようにしてください。

●ネットワークイベント通知

1~4のチャンネル毎にネットワークイベント通知を受ける権限を設定します。

センサー	外部センサーからの信号入力時にメールを受ける権限
モーション	モーション検出時にメールを受ける権限
POS	POSからの信号入力時にメールを受ける権限 ※日本国内でのPOS機信号との連動はできません。

●カメラ

カメラ毎の視聴権限を設定します。

ローカル	ライブ画面での視聴権限
ネットワーク	ネットワーク遠隔監視画面からの視聴権限

◆HDD（ハードディスク設定）

フォーマット、上書き録画などのハードディスクに関する設定を行います。

The screenshot shows the 'HDD' settings screen. On the left is a sidebar with menu items: 日付/時間, ユーザー権限, HDD (selected), S.M.A.R.T, システムログ, and 設定. The main area contains the following settings:

- DVR**: 1 | 1860.1/1862.7 GB | フォーマット
- 合計**: 1860.1/1862.7 GB | フォーマット
- HDD検査**: 実行
- 上書き**:
- 自動削除**: オフ
- アラームチェックHDD**: 1
- アラーム出力**: オフ

At the bottom, there are buttons for システム終了, 確認, キャンセル, 適用, and 初期化.

DVR	HDD1 の使用量と全容量を表示(4CH タイプは HDD1 のみ) 「フォーマット」で HDD1 を初期化
合計	全ての HDD の合計の使用量と合計の全容量を表示 「フォーマット」で全ての HDD を初期化 ※本機は 4CH タイプなので「DVR」と「合計」の内容は同じです。
HDD 検査	HDD に異常がないか検査を実行 ※検査動作中は、録画が停止しますので、ご注意ください。
上書き	録画データの上書きの有効/無効を設定
自動削除	録画データを定期的に削除 「1日」～「14ヶ月」より選択
アラームチェック HDD	HDD の異常をアラームで出力
アラーム出力	アラーム出力の種類を「ブザー」または「アラーム 1」より選択

◆S.M.A.R.T (ハードディスクの状態確認)

ハードディスクの状態を自動的に自己診断して知らせる機能です。

The screenshot shows the S.M.A.R.T settings menu. On the left is a navigation sidebar with options: 日付/時間, ユーザー権限, HDD, S.M.A.R.T (selected), システムログ, and 設定. The main area is titled 'S.M.A.R.Tチェックオン' and contains several dropdown menus: S.M.A.R.T (checked), 曜日選択 (日), ブートメッセージ (2エラー), 温度 (30分), 制限 (55°C (131°F)), and アラーム出力 (ブザー). Below these is a table with columns: エラー/テスト, 温度, 再配分 (セクター), and 使用日数. The table has one row with the number '1' in the first column. At the bottom are buttons for システム終了, 確認, キャンセル, 適用, and 初期化.

エラー/テスト	温度	再配分 (セクター)	使用日数
1			

S.M.A.R.T チェックオン	S.M.A.R.T 機能の有効/無効を設定
曜日選択	状態確認を実行する曜日を選択
ブートメッセージ	設定したエラーの発生数により、メッセージを画面に表示
時間選択	HDD の温度状態を確認する間隔を 30 分～24 時間より選択
制限	HDD の温度上限値を 10～70℃より選択 ※温度上限値に達した場合は、画面にメッセージが表示され、シャットダウンの動作に入ります。
アラーム出力	HDD の温度が上限値に達した場合のアラーム出力の種類を「ブザー」または「アラーム 1」より選択
1	エラー発生時または、温度上限値に達した場合の状態を表示

◆システムログ（システム管理ログの確認）

システム管理ログの確認と USB メモリーへのエクスポートを行います。

The screenshot shows a system management interface with a sidebar on the left containing menu items: 日付/時間, ユーザー権限, HDD, S.M.A.R.T, システムログ (selected), and 設定. The main area displays a list of system logs with columns for date/time and description. At the bottom, there are buttons for 'システム終了', '確認', 'キャンセル', '情報更新', and 'エクスポート'.

情報更新	最新のシステムログ情報に更新
エクスポート	全てのログ情報を txt ファイルにて USB メモリーへ保存

「エクスポート」を選択すると、確認画面が表示されます。

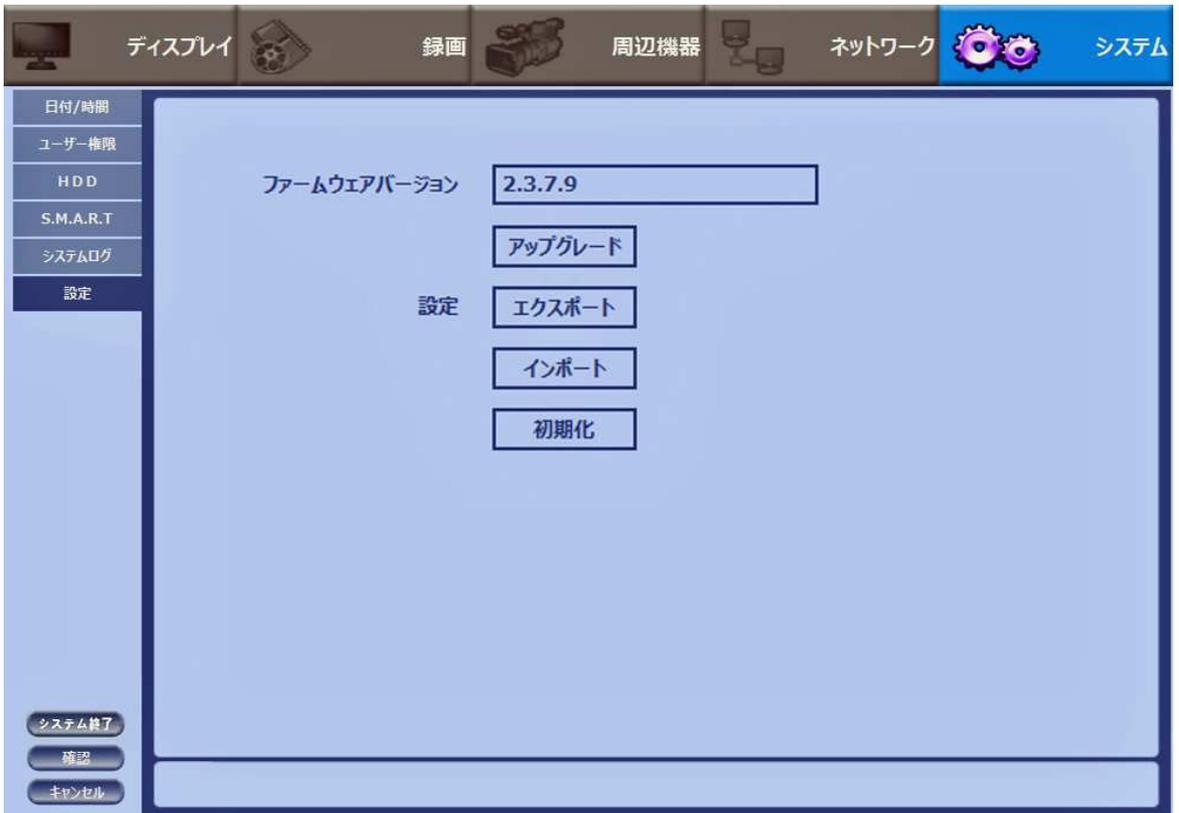
The screenshot shows a confirmation screen titled 'システムログファイルのエクスポート'. It features a text input field containing the filename '20200827111836_log.txt'. Below the input field is a virtual keyboard with keys for numbers, letters, and symbols. At the bottom, there are two buttons: '確認' (Confirm) and 'キャンセル' (Cancel).

保存するログの名前を確認して「確認」を選択します。

※USB メモリーが正しく接続されていることを確認してください。

◆設定（メニュー設定内容の保存とシステムの初期化）

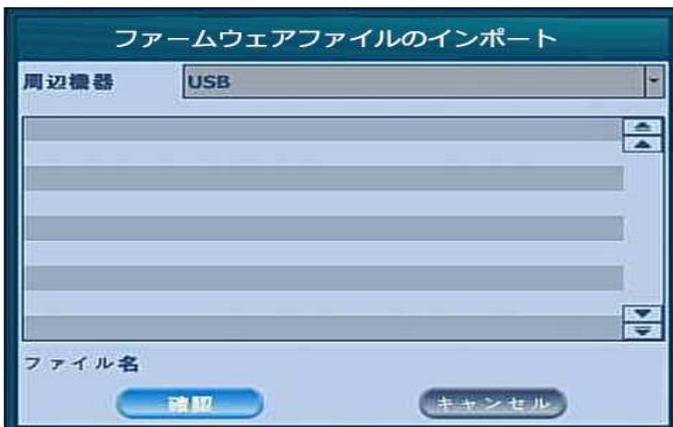
システム設定の初期化と設定しているメニューの内容を USB メモリーへ保存します。



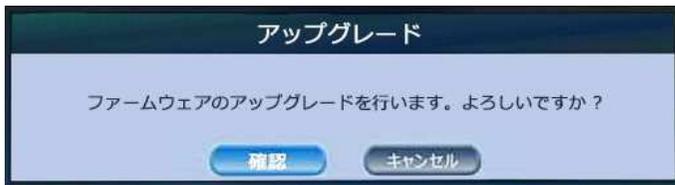
ファームウェアバージョン	システムのファームウェアバージョンを表示
アップグレード	USB メモリーから最新のファームウェアに更新
エクスポート	メニュー設定の内容を USB メモリーへ保存
インポート	USB メモリーからメニュー設定の内容をコピー
初期化	全ての設定内容を初期化 ※全ての設定がリセットされます。

●アップグレード

最新のファームウェアを入れた USB メモリーを全面パネルの USB ポートに接続してください。



表示されたファームウェアファイル名(fwr)を選んで「確認」を選択すると、アップグレード確認メッセージが表示されます。



「確認」を選択すると、ファームウェアの更新が実行されます。
ファームウェアの更新が終了すると、自動的に再起動を行います。
※ファームウェアの更新実行中は、絶対に電源を切らないでください。
※定期的なファームウェアの更新は必要ありません。

●エクスポート

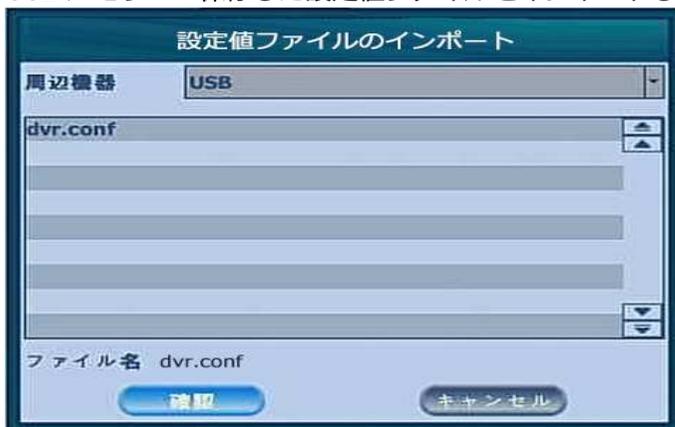
全てのメニュー設定の内容を USB メモリーへ保存します。
※USB メモリーが正しく接続されていることを確認してください。



保存する設定値ファイルに名前を入力して「確認」を選択します。
「成功」のメッセージが表示されたら、保存終了です。

●インポート

USB メモリーへ保存した設定値ファイルをインポートします。



表示された設定値ファイルを選んで「確認」を選択すると、設定値がコピーされます。

◆システム終了（シャットダウン）

本機の電源を切る場合は、システム終了操作を必ず行ってください。



「システム終了」を選択すると確認画面が表示されますので「確認」を選択します。

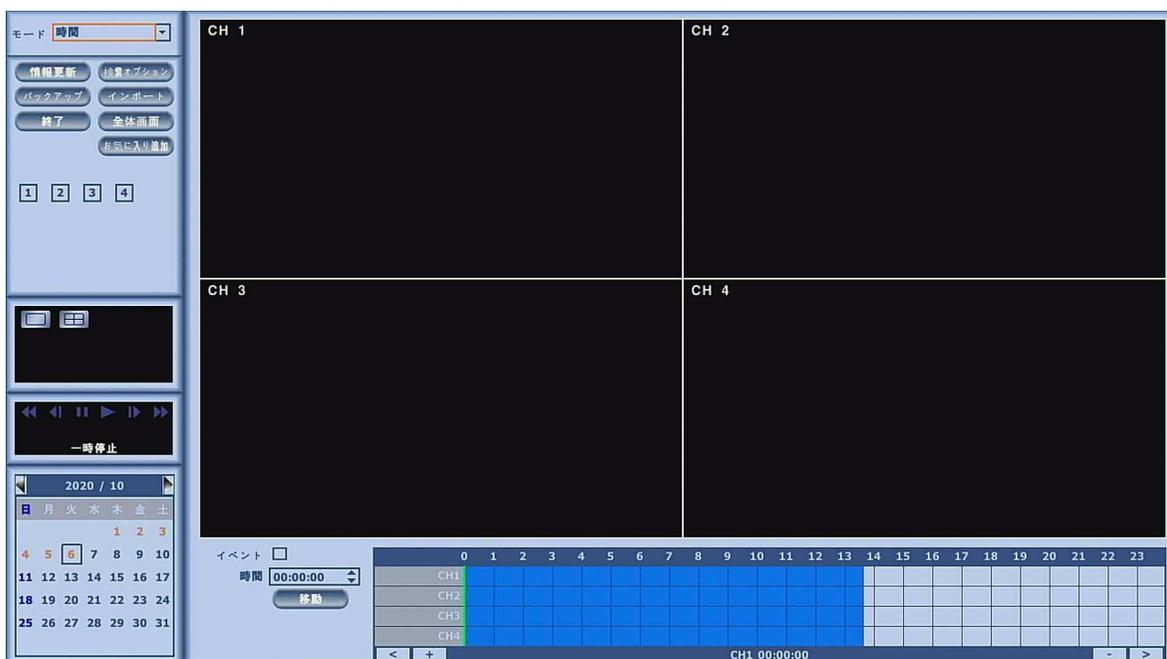


シャットダウンの動作に入り、「電源を切ってください。」が表示されたら、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

※システム終了の操作をせずに電源を切った場合は、録画中のデータが消失する場合があります。
また、ハードディスクのトラブルの原因となる場合がありますので、ご注意ください。

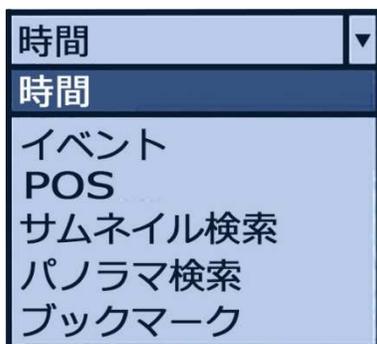
◇検索モード◇

ポップアップメニューの「検索」を選択すると、検索再生画面が表示されます。



検索条件に応じた検索方法で、録画データを検索して再生することができます。

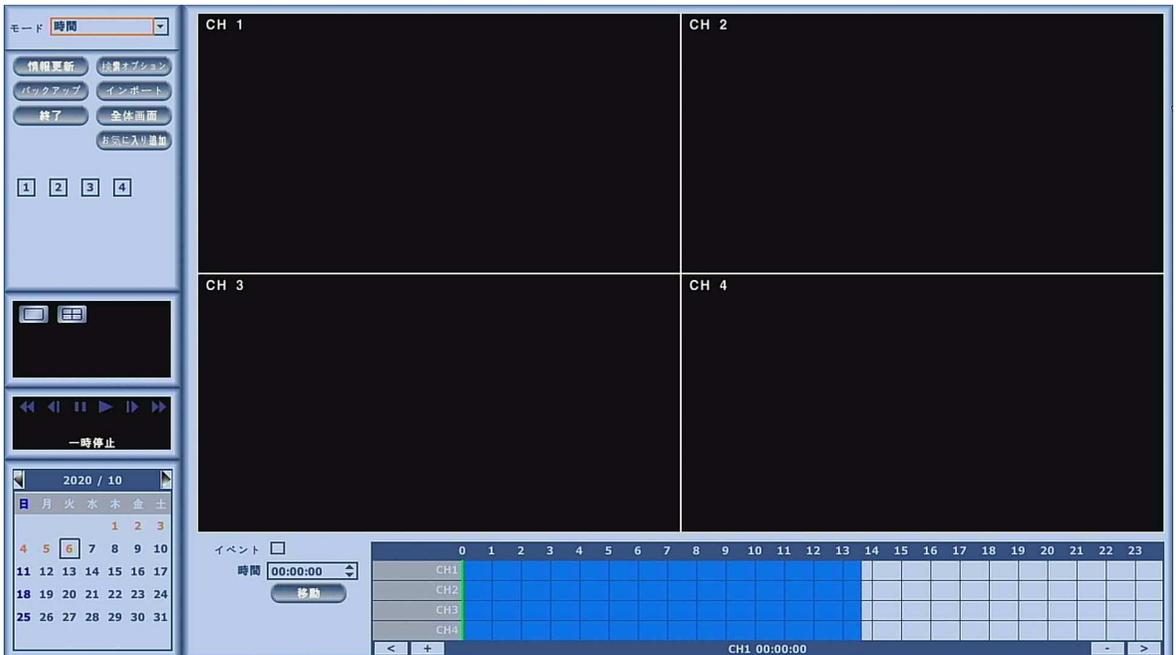
画面左上から検索方法を選択します。



時間	カレンダーの日付・時刻による検索
イベント	モーション検出、センサー検知などのイベントログによる検索
POS	POS の処理データによる検索 ※日本国内での POS 機との運動はできません。
サムネイル検索	特定のチャンネルのみを設定した間隔で時間差再生
パノラマ検索	特定のチャンネルのみを全チャンネルで再生
ブックマーク	登録したお気に入りから再生

<時間検索>

カレンダーの日付と時刻から録画データを検索して再生します。

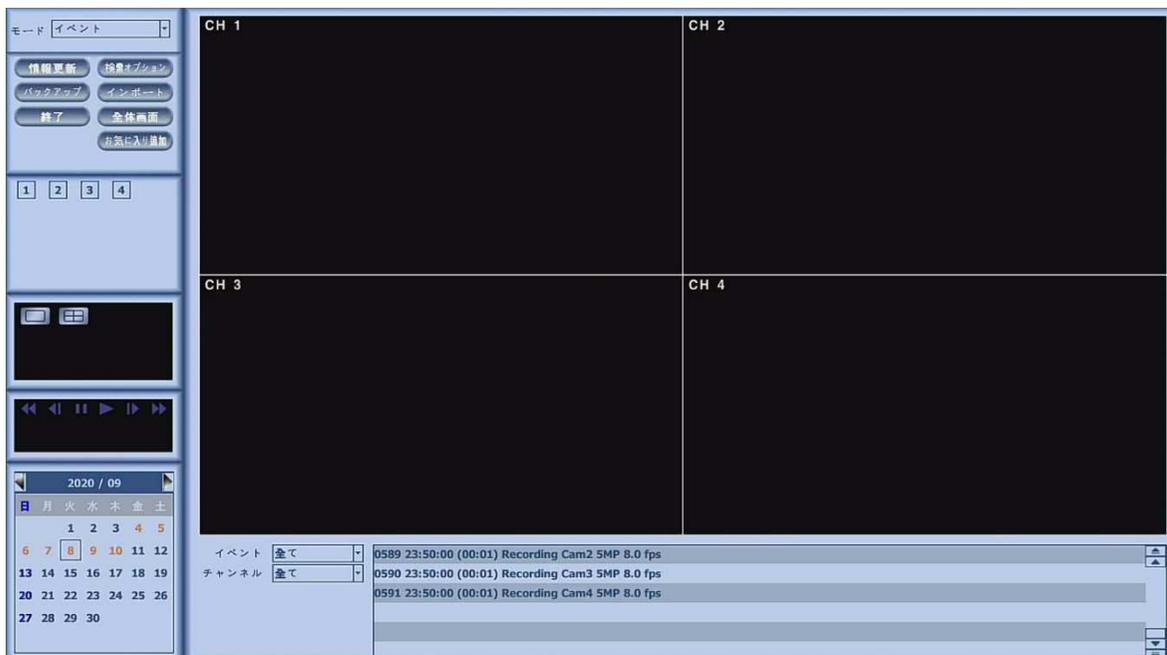


- 画面左下のカレンダーから検索する日付を選択します。
- 検索する時刻を設定します。
画面下の「時間」に時刻を入力するか、再生したい時刻をタイムバーから選択してください。
タイムバーの「+」「-」で、時間の表示単位を「1 時間」「5 分」「30 秒」に変更できます。
「イベント」にチェックを入れると、イベント録画の履歴のみを表示します。
- 「移動」を選択すると再生が開始されます。



<イベント検索>

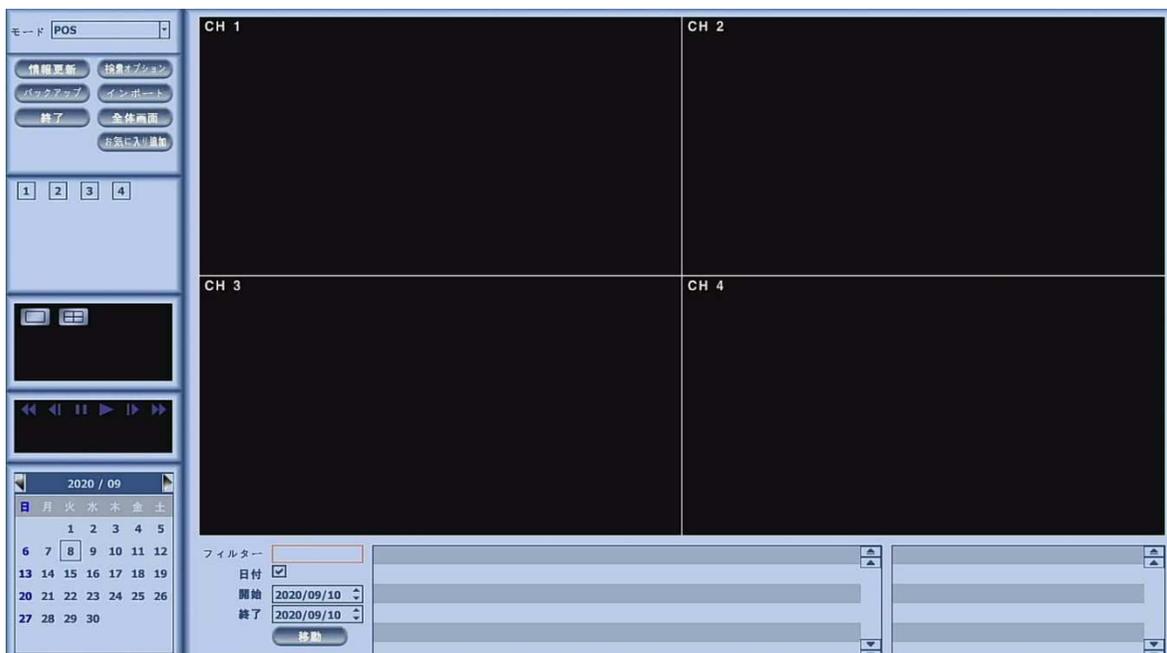
イベントログから録画データを検索して再生します。



- ・画面左下のカレンダーから検索する日付を選択します。
- ・選択した日付のイベントログが画面の下に表示されますので、「イベント」の種類(センサー/モーション/ビデオロス/POS)と「チャンネル」を選択します。
- ・検索されたイベントログを選択すると、再生が開始されます。

<POS 検索>

POS の処理データから録画データを検索して再生します。



- ・画面左下のカレンダーから検索する日付を選択します。
- ・選択した日付の POS の処理データのログが画面の下に表示されます。
- ・「フィルター」にキーワードを入力して「移動」を選択すると、詳細な検索が可能です。
- ・指定した期間のログを一括で検索する場合は、「日付」にチェックを入れて「開始」日時と「終了」日時を設定して「移動」を選択してください。
- ・検索された処理データのログを選択すると、再生が開始されます。

※日本国内での POS 機との連動はできません。

<サムネイル検索>

特定のチャンネルのみを設定した間隔で時間差再生します。



- ・画面左下のカレンダーから検索する日付を選択します。
- ・再生する「チャンネル」を 1～4 より選択します。
- ・「Interval」で時間の間隔を 10 分～2 時間より選択します。
- ・検索する時刻を設定します。

画面下の「時間」に時刻を入力するか、再生したい時刻をタイムバーから選択してください。タイムバーの「+」「-」で、時間の表示単位を「1 時間」「5 分」「30 秒」に変更できます。

- ・「移動」を選択すると、設定した時刻から等間隔の時間差で再生が開始されます。

<パノラマ検索>

特定のチャンネルのみを全チャンネルで再生します。



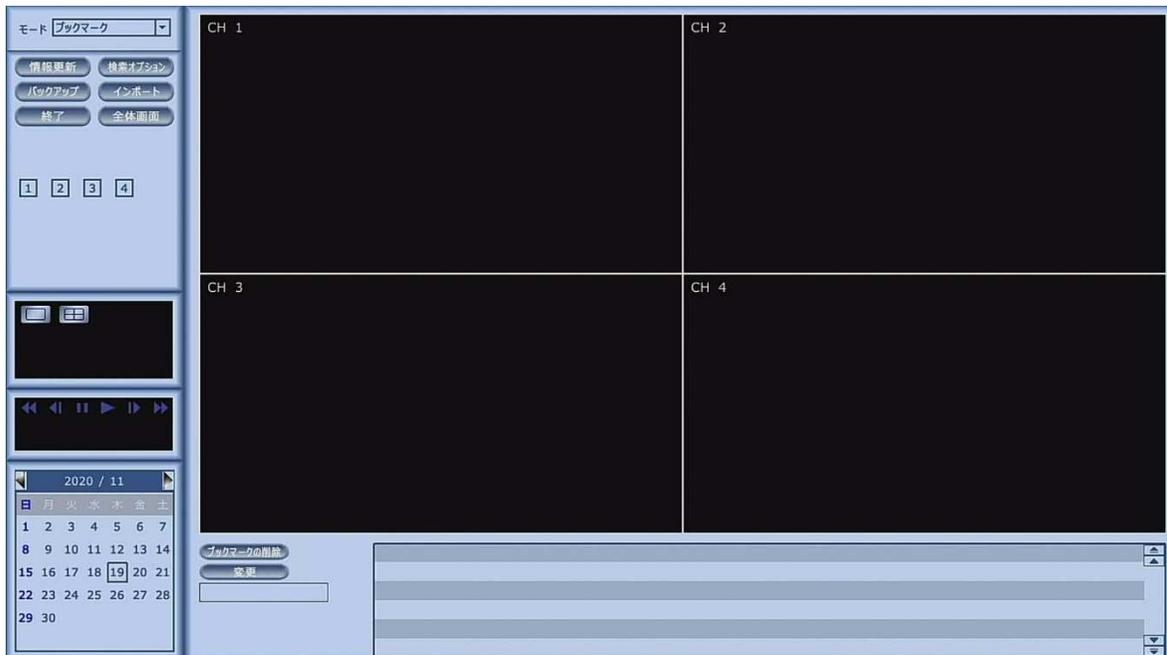
- ・画面左下のカレンダーから検索する日付を選択します。
- ・再生する「チャンネル」を1～4より選択します。
- ・検索する時刻を設定します。

画面下の「時間」に時刻を入力するか、再生したい時刻をタイムバーから選択してください。タイムバーの「+」「-」で、時間の表示単位を「1時間」「5分」「30秒」に変更できます。

- ・「移動」を選択すると、設定した時刻から全てのチャンネルに同じ映像が再生されます。

<ブックマーク>

登録したお気に入りから再生をします。



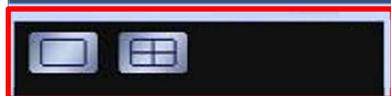
- 画面左下のカレンダーから再生する日付を選択します。
- 画面の下に登録されているブックマークリストが表示されます。
- 表示されたブックマークリストを選択すると、再生が開始されます。
- 「ブックマークの削除」を選択して、登録しているブックマークを削除します。
- 「変更」を選択して、登録しているブックマークの名前を変更します。



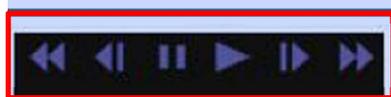
<操作説明>



各チャンネルの選択



1画面表示と4分割表示の選択



再生の操作

⏮	高速逆再生
⏪	逆スロー再生
⏸	一時停止

▶	再生
⏩	スロー再生
⏭	高速再生



カレンダー

録画データがある日付をオレンジ色で表示

<オプション機能>

画面左上のボタンから、オプション機能を設定します。

情報更新	保存している全ての録画データを更新
検索オプション	検索モードの初期設定値を設定
バックアップ	USBメモリーに録画データを保存(14~15ページ参照)
インポート	USBメモリーに保存した録画データを取り込んで再生(exeファイルのみ)
終了	ライブ画面に戻る
全体画面	全画面モードに切り替え
お気に入り追加	ブックマークを登録

◆検索オプション

検索モード初期値設定	検索モードの検索方法の初期設定値の変更
検索イベント初期値設定	「イベント」の種類検索の初期設定値の変更
検索 CH 初期値設定	イベント検索での「チャンネル」の初期設定値の変更
検索間隔初期値設定	サムネイル検索の「Interval」の初期設定値の変更
POS 出力	POS データの表示の有効/無効 ※日本国内での POS 機との連動はできません。
再生	POS 接続時の再生に関わる設定 ※日本国内での POS 機信号との連動はできません。
データ重複	時刻補正で録画データが重複した場合の録画データを表示

◆お気に入り追加

- ・各検索画面の左下のカレンダーから日付を選択します。
- ・時刻または、ログリストを選択します。
- ・「お気に入り追加」を選択すると、ブックマーク登録画面が表示されます。

- ・名前を入力して「確認」を選択すると、設定した日時がブックマークに登録されます。

<再生方法>

各検索方法で再生が開始されたら「全体画面」を選択して全体画面モードに切り替えます。



各画面左上のチャンネル名の下に、録画データの解像度とフレームレートが表示されます。

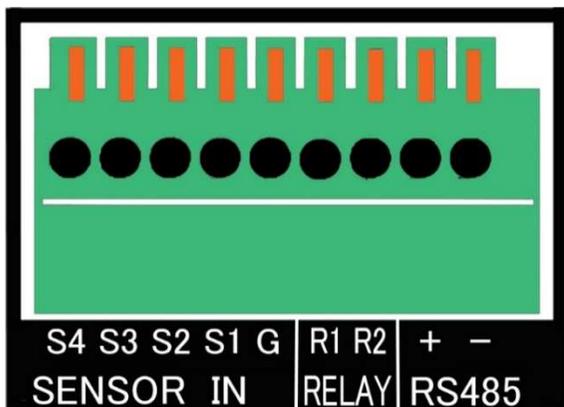


①再生日時 	再生している録画データの日付を表示
②再生時刻 	再生している録画データの時刻を表示
③画面表示 	画面表示の変更（12 ページ参照）
④再生操作	<p>◀◀：逆方向高速再生(×2/×4/×8/×16/×32/×64 倍速)</p> <p>◀：逆方向等倍速再生</p> <p>◀◀：逆方向スロー再生(×0.5/×0.25 倍速)</p> <p>■：一時停止/コマ送り</p> <p>▶：正方向スロー再生(×0.5/×0.25 倍速)</p> <p>▶：正方向等倍速再生</p> <p>▶▶：正方向高速再生(×2/×4/×8/×16/×32/×64 倍速)</p> <p>■：停止</p>
⑤操作状態	再生操作の状態を表示
⑥音声 	音声の出力状態を表示

10.外部機器の接続

背面パネルの外部機器接続端子に接続する外部機器についての説明をします。

配線には、単線または、撚り線の電線を使用してください。電線の被覆を8~10mm程度剥いて使用します。撚り線を使用する場合は、芯線に半田を付けてください。

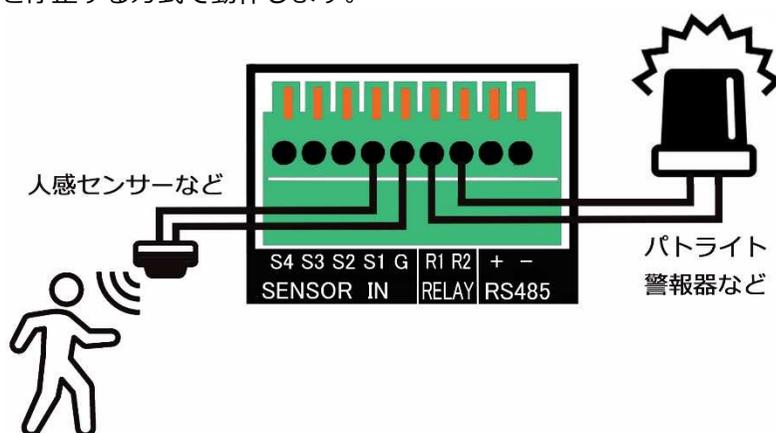


オレンジ色の部分を押しながら、穴に電線を挿入してください。

SENSOR IN S1~S4	外部センサーを接続 仕様：入力方式 N.C または N.O
SENSOR IN G	S1~S4 のグラウンド(GND)側を接続
RELAY R1/R2	リレー(アラーム機器など)を接続 仕様：無電圧接点出力
RS485 +/-	外部デバイスを接続(PTZ カメラなど)

外部センサーは、SENSOR IN S1~S4端子とG端子に接続します。SENSOR IN端子とG端子の間には、5Vの電圧が発生しています。外部センサーの入力方式がN.O(ノーマルオープン)の場合、SENSOR IN端子とG端子の電圧差が0Vになる(外部センサーの入力が閉じる)とセンサーが動作したと認識し、設定した動作(例えば録画)を開始します。

RELAY端子は電源を供給しておらず、リレーによるON/OFF機能だけを行います。センサーが反応した時に出力を停止する方式で動作します。



※外部センサーの設定については、39~40 ページをご確認ください。

※リレー出力(アラーム 1)の設定については、40~45 ページと 63~64 ページをご確認ください。

※PTZ カメラの設定については、48 ページをご確認ください。

11.録画時間の目安

◆カメラ4台で全て同じ設定の場合(H.265/HDD2TB)◆

メインストリームとサブストリームのフレームレートと画質設定を同じにした場合の録画時間

録画解像度	フレームレート fps	画質 高	画質 普通	画質 低
5M (2560×1920) 640×352	12	12.68	16.89	25.43
	10	15.17	20.21	30.06
	5	30.06	39.23	56.46
4M (2560×1440) 640×352	15	13.38	17.87	26.76
	10	20.12	26.91	39.91
	5	39.91	52.02	73.48
1080p (1920×1080) 640×352	30	10.24	13.65	20.48
	10	30.86	40.97	60.91
	5	60.91	77.16	107.66
720p (1280×720) 640×352	30	20.21	26.91	40.61
	10	60.91	81.22	118.71
	5	118.71	144.68	192.90
960H (960×480) CIF	30	43.26	57.87	85.73
	10	118.71	144.68	192.90
	5	192.90	220.46	231.49
D1 (720×480) CIF	30	54.46	72.34	107.66
	10	114.68	178.06	220.46
	5	220.46	231.49	231.49

単位：日

目安表の録画時間は計算上のものですので、あくまでも目安とお考えください。

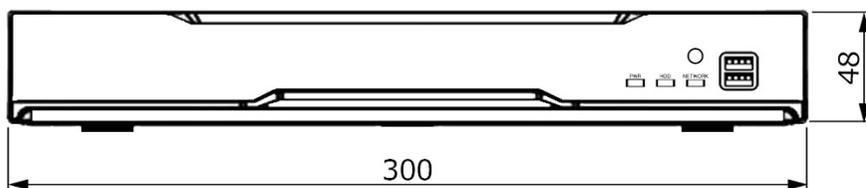
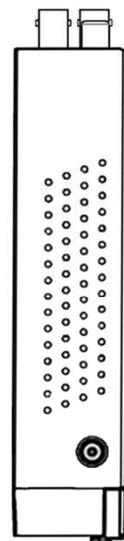
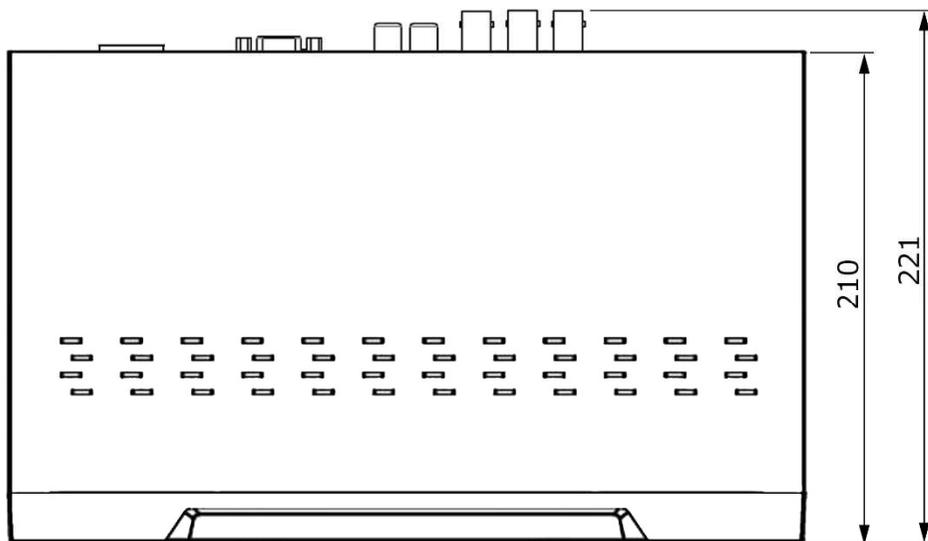
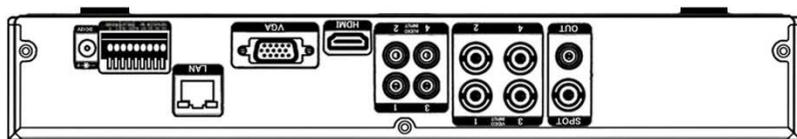
画質「高」「普通」「低」に設定した場合、VBR(可変ビットレート)となり、撮影条件に応じてビットレートが可変します。動きの多い映像や、映像の明るさ、色の多さなどの状況により、多くのビット量を割り当てる方式ですので、録画時間が極端に短くなることがあります。但し、データ量が多く必要な場面では多く、映像にほとんど変化が無い場面では少なくと、自動的にビット量を調整するため、画質を落とさずにファイルサイズを必要最低限に抑えることができます。VBRは、一般的には長時間録画の設定に適しています。

録画時間を明確に設定したい場合は、画質をCBR(固定ビットレート)に設定してください。撮影条件に関係なく、常に同じビット量を割り当てる方式のため、録画時間が明確になります。但し、撮影条件により画質が安定しない場合があります。CBRに設定した場合は、画質「高」の録画時間を目安としてください。

12.製品仕様

映像入力		4チャンネル BNC.J
映像出力	HDMI	最大 3840×2160
	VGA	最大 1920×1080
	BNC.J	最大 1920×1080
音 声	圧縮方式	G.711A
	入力	4チャンネル RCA.J
	出力	1チャンネル RCA.J
録 画	映像圧縮方式	H.265/H.264
	解像度	8M(8M or 1080P)CH1のみ/5M(5M or 720P) 4M(4M or 720P)/1080P(1080P or 720P) 960H(960H or D1)
	フレームレート	1~30fps (8M 15fps/5M 合計 50fps 最大 20fps/4M 合計 60fps)
	画質	3段階
	モード	連続録画/スケジュール録画/モーション録画/アラーム録画
	プリレコード	1~10秒
	ポストレコード	5~60秒
画面表示	画面モード	1画面/4分割
	オートシーケンス	1~60秒
	デジタルズーム	エリア選択(mouse dragging)
再 生	再生速度	2~64倍速(高速再生)/0.25~0.5倍速(スロー再生)
	同時再生	最大4チャンネル
バックアップ	ファイルフォーマット	AVI/exe
	メディアインターフェイス	USB2.0(フラッシュメモリー)
表示言語		23ヶ国語対応
ネットワーク	プロトコル	TCP/DHCP/DDNS/NTP/SMTP/FTP/DNS/UPNP/PPPoE/P2P
	専用アプリケーション	CMS/Mr.PATROL
	ストリーミング	5M/4M/1080p/720p/960H/D1
内蔵ハードディスク		SATA 2TB×1(最大10TB)
時計精度		月差±60秒以内(NTP対応)
電源		DC12V±1V(センタープラス)
消費電力		約9W(最大約17W)
使用動作温湿度範囲		0~40℃/20~80%
本体寸法		300(W)×48(H)×221(D)mm
重量		約1600g
付属品		ACアダプター/HDMIケーブル/リモコン/マウス/遠隔監視用ソフト

13.寸法図



単位 : mm

14.トラブルシューティング

問 題	考えられる対処方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源アダプターが正しく接続されていることを確認してください。 ・電源アダプターの故障が考えられます。
カメラの映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラが正しく接続されているか確認してください。 ・カメラの配線に損傷がないか確認してください。 ・カメラの電源が入っているか確認してください。
録画ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・「録画」の設定を確認してください。(28~34 ページ) ・ハードディスクの録画データがいっぱいになっていませんか?(63 ページ) ・電源を入れ直してハードディスクの初期化をしてください。(63 ページ)
スケジュール録画が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻は正確に設定されていますか?(24 ページ) ・「スケジュール設定」の見直しをしてください。(32 ページ)
モーション録画が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ・「モーション検出」設定を確認してください。(38 ページ)
上書き録画ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・「上書き録画設定」を確認してください。(63 ページ)
再生ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・録画データはありますか? ・電源を入れ直してください。
画像がぼやける	<ul style="list-style-type: none"> ・焦点調整などのカメラの状態を確認してください。
時計が正確でない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源を切ってから長期間経過していませんか? ・タイムゾーンの設定を確認してください。

※解決しない場合は、電源を切り、しばらくしてから電源を再投入して、再度症状を確認してください。

全ての設定を工場出荷時に初期化して、再度症状を確認してください。(66 ページ参照)

問題が解消できない場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

15.修理について

- ・不具合の原因が、一時的な誤作動や設定によるもので、物理的な異常が無い場合があります。修理のご依頼の前に、電源の再起動、設定の初期化、ハードディスクのフォーマットをお試しください。
- ・修理をご依頼になる場合は、事前に必要な録画データのバックアップや設定のエクスポートを行ってください。点検や修理において、データの初期化が必要になり、データを消失してしまう場合があります。録画データの復元やコピーはできませんのでご了承ください。
- ・現場への出張修理は行っておりません。保証期間内外を問わず、修理対応は SEND BACK とさせていただきます。
- ・破損などの状態により、修理ができない場合があります。
- ・部品保有期間切れのため、修理ができない場合があります。
- ・修理のご依頼につきましては、ご購入頂きました販売店へご相談ください。

免責事項

- 本製品は、防犯を保証する機器ではありません。製品の動作の正常・異常に関わらず、犯罪や事故が発生した場合の損害について、当社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 製品の設置(取り付け、取り外し)などによって生じた建物などへの損傷や、その他の損傷について、当社は一切の責任を負いません。
- 火災・水害・地震・落雷などの天災地変及び公害・塩害・ガス害・異常電圧・指定外の使用電源などによる損傷について、当社は一切の責任を負いません。
- 製品の使用または、使用不能から生じる付随的な損害(利益の損失・事業の中断・記録内容の消失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。

販売元



東進電機工業株式会社

〒389-0505 長野県東御市和 1106-4

TEL:0268(75)7708 FAX:0268(75)8226

2020年10月作成